

フィリピン日系人実態調査報告書

昭和61年 3月

国際協力事業団

移計調

CR (10)

86 - 4

RY

JICA LIBRARY



1031468E0J

12779

国際協力事業団

受入 月日 '86. 6. 20	118
登録No. 12779	234
	EMP

ま え が き

本調査は、フィリピンにおける日系人の実態を明らかにするため、外務省と国際協力事業団が共同して、昭和60年12月に実施したものである。

国際協力事業団は、従来より、中南米、北米、豪州において、移住事業を実施しているが、今回新たに、アジアの一部であるフィリピンにおいて日系人の実態調査を実施することができたことは画期的であり、意義深いものがあると考えられる。

調査に当って、ご協力をいただいた在フィリピン日本大使館はじめ関係各位に深く御礼を申し述べます。

昭和61年3月

国際協力事業団
移住事業部長



「フィリピン日系人会」事務所にて
同会役員との懇談（ダバオ市）



フィリピン人経営ラミー農場の収穫
（ダバオ市近郊）



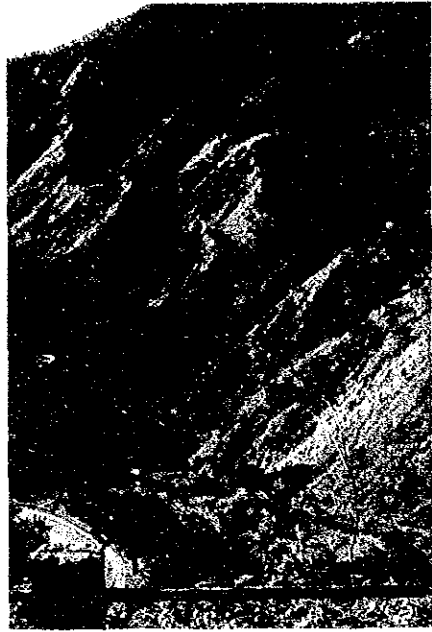
ダバオ市近郊ミンタル地区の古川拓殖跡地
の一部（現地試験場として利用）



ミンタル地区古川拓殖跡地の
邦人墓地（ダバオ市近郊）



「北部ルソン比日親善協会」役員と
カトリック修道院にて懇談（バギオ市）



邦人が建設工事に従事し完成した
「ベンゲット道路」（バギオ市）



バギオ市内日系人宅訪問（GOYANE氏宅）



戦前日本人が入植していたトリニダッド市の農場



トリニダッド地区日系人農協「バホンアランパン農協」
の日本野菜集荷調整共同作業（バギオ市近郊）



バギオ近郊の日系人野菜栽培圃場



トリニダッド地区現在日系人入植地域
(バギオ市近郊)

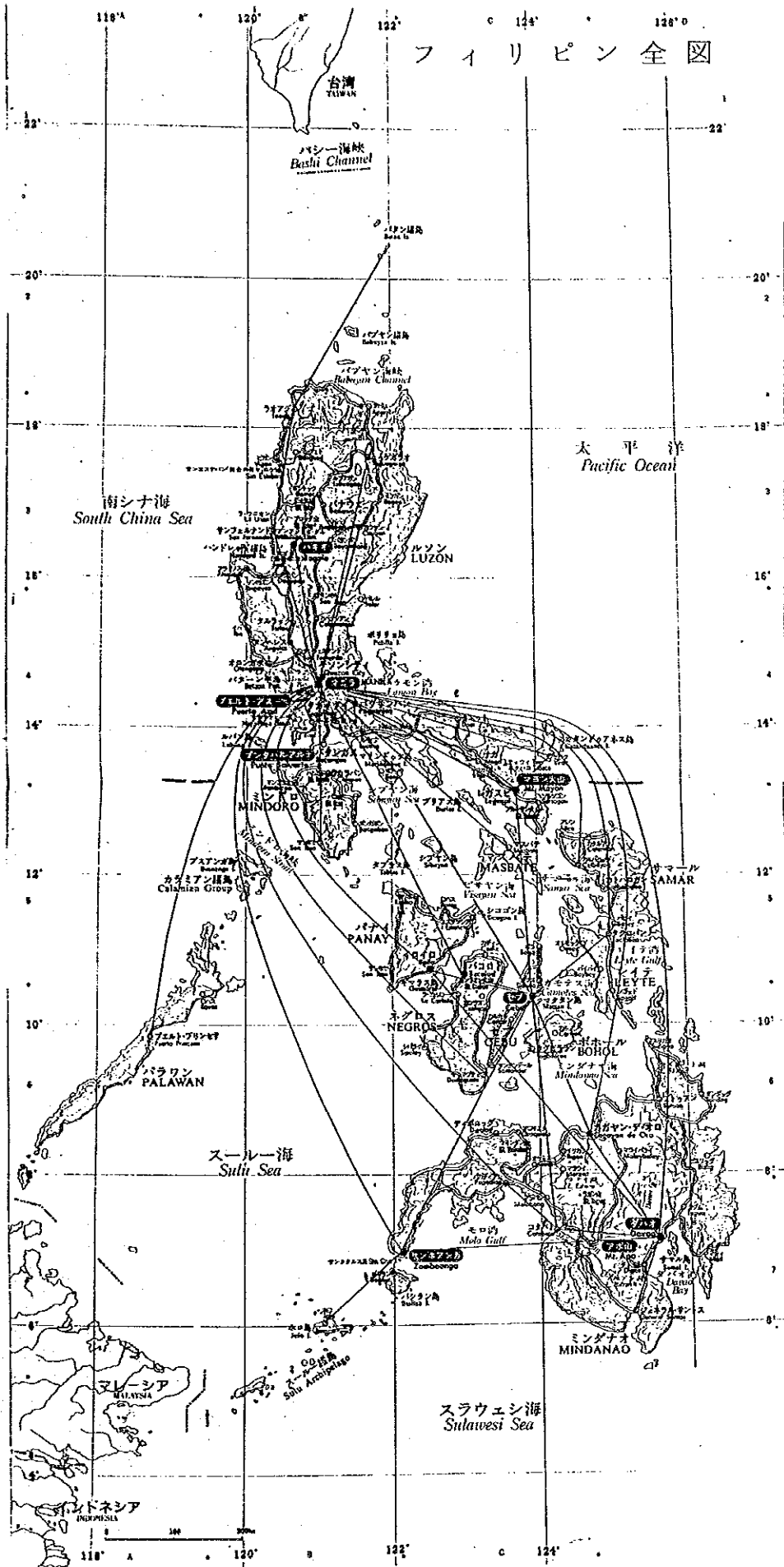


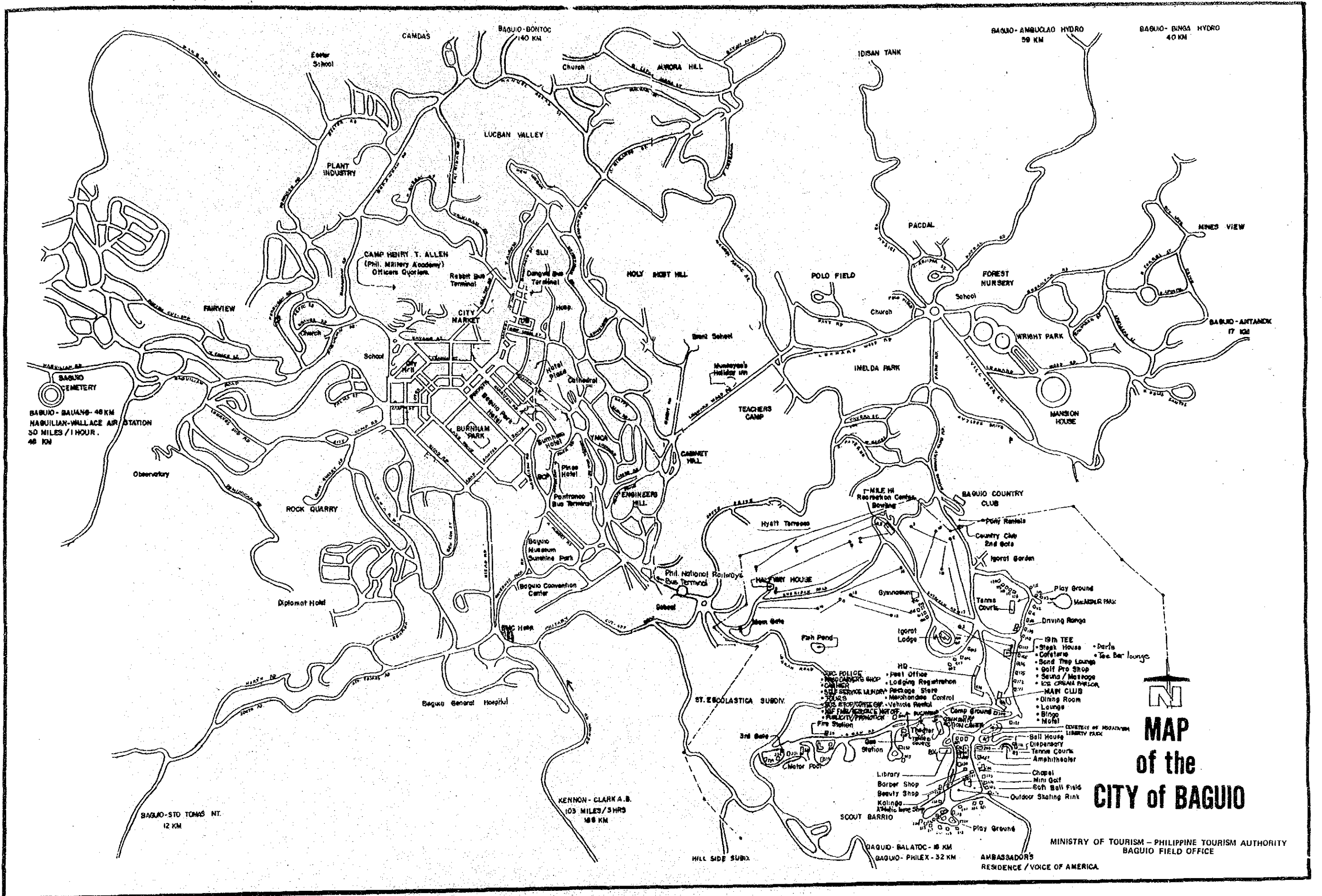
「フィリピン沖縄県人会」事務所にて同会役員、
二世会メンバーとの懇談(マニラ市)



「マニラ会」子供教室の指導者山本先生と
同先生作成の教材(マニラ市)

フィリピン全図





ダバオ市内図



LEGEND

POINTS OF INTEREST

- 1. St. Peter's Cathedral
- 2. Ande-Rizal Fruit Center
- 3. Alderino Shopping Center
- 4. Buddhist Temple
- 4 A. Puentespina Flower & Orchid Garden
- 5. Chinatown
- 5 A. Bureau of Immigration (Antwei Bldg.)
- 6. Muslim Fishing Village
- 7. Magsaysay Park
- 7 A. Dakudao Sports Complex
- 7 B. Madrazo Fruit Center
- 7 C. NAQIDA (Cottage Industries)
- 7 D. Davao City Museum
- 7 E. Bankerohan Public Market
- 7 F. Indonesian Consulate General
- 7 G. Japanese Consulate
- 7 H. Emika Dabaw

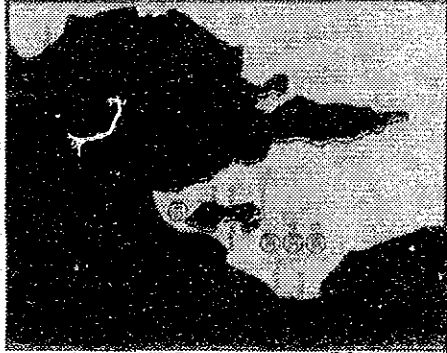
HOTELS AND RESTAURANTS

- 8. Imperial Hotel
- 9. Apo View Hotel
- 10. Hotel Maguindanao
- 11. Denela's Restaurant
- 12. Aming Bahay

- 12 A. Surungbanggi (Steak-house)
- 12 B. Shakey's Pizza Parlor
- 12 C. Malve Gressless Fried Chicken
- 13. Men Seng Hotel & Restaurant
- 14. Davao Insular Inter-Continental Inn
- 14 A. D' Fabulous Venee's Hotel
- 14 B. Cuisen Hotel/Davao Casino
- 14 C. Antelitz Hotel
- 15. International Restaurant
- 16. Manila Restaurant
- 17. Kusina Dabaw
- 18. Davao Inhaw
- 18 A. Hongkong Restaurant
- 18 B. Makati Restaurant and Executive Centre
- 18 C. Kamayan ni Mang Turu
- 18 D. Scalloped Tuna ("Barriles") eateries
- 18 E. Harana I & II
- 18 F. Lakambini Native Crafts

OFFICES AND OTHER ESTABLISHMENTS

- 19. Philippine Airlines
- 20. City Hall
- 20 A. Rizal Park
- 21. Ministry of Tourism
- 22. Post Office - PLDT
- 23. Philippine National Bank
- 24. Agdao Public Market



Discover various interesting places within the Davao region.

- 25. Sta. Ana Wharf
 - 26. PANAMIN Office (re ethnic tribes)
 - 26 A. Ministry of Foreign Affairs - Passport Office
- Other attractions found outside the city population area are, as shown in map inset, the following:
- 27. Apo Golf and Country Club
 - 28. Japanese Peace Memorial
 - 29 A. Shrine-Infant Jesus of Prague atop a hill
 - 29 A. La Suerte Cockpit
 - 30. Japanese Cemetery
 - 30 A. Nieva's Shellcraft
 - 31. Bago Oshiro Experimental Station
 - 32. Caroland Resort
 - 33. Mt. Apo Science Foundation
 - 34. Nanta Stock Farm
 - 35. Mt. Apo National Park
 - 36. Philippine Eagle Camp
 - 37. Mindanao Industrial Confectionary (durian sweets)
 - 38. Aguinado Pearl Farm (Samal Island)
 - 38 A. Bangoy Island Beach (Samal)
 - 38 B. Talicud Island Beach
 - 39. Bacotan Cement Factory
 - 40. Lepanday Banana Plantation
 - 41. Precy's Creations & Handicrafts
 - 41A. GAP Farming Resort (Maal)
- 41 B. Lakambini Ethnic Crafts
 - 42. Yuhico Orchid Farm, Greenhills Catalunan Pequeño
 - 43. Derling Orchid Farm
 - 44. Dumoy, Terji, Davao City
 - 44 A. Davao Museum
- DISCOS/NITESPOTS**
- 45. Venee's Subway Disco
 - 46. One-Down Disco/Studio 7 Disco/Baja Daba Disco (Apo View Hotel/Hotel Maguindanao/Cuisen Hotel)
 - 47. Jimmi's Club, Theatre & Restaurant
- BEACHES**
- 48. Times Beach/Bonguyan Beach
 - 48. Victoria Beach
 - 50. Saikatot Beach
 - 51. Talomo Beach
 - 52. Talisay Beach
 - 53. Guinoo Beach Resort
 - 54. St. John's Beach
 - 55. Godo's Beach Resort
 - 56. Paradise Island Beach (fronting Davao Insular)
 - 57. Villa Victoria Beach Resort (Bago Aplaya, Dumoy)

目 次

I 調査の背景、内容及び方法	1
II 調査団の構成及び調査日程	2
1. 調査団の構成	2
2. 調査日程	2
3. 面会者リスト	3
III 調査結果要旨及び所感	6
IV 調査結果（各調査対象日系人団体別）	10
1. フィリピン日系人会（ダバオ市）	10
2. 北部ルソン比日親善協会（バギオ市）	19
3. マニラ会（マニラ市）	23
4. フィリピン沖縄県人会（マニラ市）	29
V 資 料	
1. 各日系人団体別定款及びメンバーリスト等収集資料	
(1) フィリピン日系人会	
① 「フィリピン日系人会」定款	31
② 「フィリピン日系人会」メンバーリスト	41
③ 「フィリピン日系人会」要望書（ラミー農場）	58
④ 旧ダバオ市近郊地図	66
(2) 北部ルソン比日親善協会	
① 「北部ルソン比日親善協会」定款	67
② 「北部ルソン比日親善協会」メンバーリスト	83
③ 「北部ルソン比日親善協会」要望書	91
④ 「バホンアランパン農業協同組合」要望書	94
⑤ 「北部ルソン比日親善協会」同会収支決算書（1984年度）	95
⑥ 「バホンアランパン農業協同組合」認可書	104
(3) マニラ会	
① 「マニラ会」会則	107
② 「マニラ会」会員名簿	108
③ 「マニラ」会報	112

(4) フィリピン沖縄県人会	
① 「フィリピン沖縄県人会」規約	113
② 「フィリピン沖縄県人会」メンバーリスト(役員名簿も含む)	116
③ 「フィリピン沖縄県人会」要望書	134
④ 「フィリピン沖縄県人会」会報	135
2. フィリピンにおける邦人移民(国際協力事業団発行 移住研究18号)	137
3. フィリピン日系人団体要望一覧表	149

I 調査の背景、内容及び方法

フィリピンへの最初の組織的移住は、明治 36 年ベンゲット州のバギオ市（マニラ市の北方約 250km、標高 1,500 m）へ通じるベンゲット道路（別称ケノン道路）建設のため日本から呼び寄せられた約 2,300 名の建設労働者の渡航を嚆矢とするが、現在これら戦前移住者の子孫を中心とする 5,000 名を超える日系人が同国に在住していると推定されている。従来これら日系人の実態については、必ずしも明らかではなかった為、今般外務省及び国際協力事業団より職員各 1 名を現地に派遣し、日系人数、職業、生活程度及び日系人団体の活動内容等に係る調査を行うことになった。

現地の治安状況が悪化していることに加え、2 週間弱という短い期間にフィリピン国内 3 カ所（マニラ、ダバオ及びバギオ）において調査を実施したため、調査は各日系人団体の幹部等関係者よりのヒアリングを中心として、補足的に現地調査（日系人宅訪問等）を行う形で実施した。さらに、日系人団体の定款、会員名簿等関係資料の収集を行った。

また、調査の実施にあたり、在フィリピン日本国大使館及び国際協力事業団マニラ事務所より必要な助言を得て、総合的な日系人の実態把握に努めた。

最後に、本調査においては、主としてマニラに在住する 1,000 名余と推定される永住者についても、広い意味での日系人として調査対象にしたことをお断りしておく。

II 調査団の構成及び調査日程

1 調査団の構成

氏名	所 属
小林 雅彦	外務省 領事移住部移住課事務官
永野 征一	JICA 移住事業部海外事業課課長代理

2 調査日程

日数	月日	曜日	行 程
1	12/2	月	東京～マニラ移動 ② JICA事務所、在フィリピン日本国大使館挨拶、調査日程打合せ
2	3	火	① マニラ市日系関係施設見学 ② フィリピン沖縄県人会訪問調査、会長、矢田尾好子氏他役員、青年会員、沖縄県よりの留学生等 14 名より同会の実情聴取 マニラ会が実施している日本語教室関係者、マニラ会副会長（カトリック司祭）西本至氏、山本雅子氏に面談実情聴取
3	4	水	マニラ～ダバオ移動 ② 在フィリピン日本国大使館ダバオ駐在官事務所挨拶、調査日程打合せ、同事務所にてフィリピン日系人会、会長、萩尾アルトール氏他 11 名の役員と懇談、同会の実態聴取
4	5	木	① ダバオ日本人墓地、太田興業跡地視察 フィリピン日系人会事務所訪問、調査 ② ダバオ市内日系人、クボキ、執行、中山宅訪問、調査
5	6	金	① ダバオ市近郊トリル地区のラミー農場、古川拓殖跡地視察。 ② トリル地区日系人、徳永、中村、前田、立石宅訪問、調査
6	7	土	ダバオ～マニラ～バギオ移動 ② 北部ルソン比日親善協会顧問海野氏と調査日程打合せ バギオ市日系人東地宅訪問
7	8	日	① 北部ルソン比日親善協会、会長、浜田オセオ氏他役員 7 名と懇談、実態調査 ② 同会の定例会（カトリック修道院において）に出席、実情を聴取（参加者会員 80 名）、JOCV隊員（バギオ市にて日本語教室の講師としてボランティア活動中）より日本語教室の実情、問題点を聴

日数	月日	曜日	行程
			取
8	12/9	月	① ベンゲット道路，日本墓地視察，日本の民放で放映されたバギオ在住日系人をテーマにしたビデオテープ視聴 ② バギオ市近郊の日系農家下津宅訪問
9	10	火	① シスター海野氏より日系人会及び日系人の実態聴取 ② バギオ市近郊トリニダッド地区のパホンアランパン農協訪問（野菜の集荷及び出荷状況見学） トリニダッド地区日系農家，加藤宅訪問
10	11	水	バギオ～マニラ移動 ③ 資料とりまとめ
11	12	木	① マニラ日本人会事務局，フィリピン日本人商工会議所事務局訪問 ② マニラ会，会長，大沢清氏と面談，同会の実態聴取
12	13	金	① 在フィリピン日本国大使館，JICAマニラ事務所に調査報告。 ② 資料とりまとめ
13	14	土	マニラ～東京移動

3. 面会者リスト

在フィリピン日本国大使館

角 谷 清 大 使

国 安 正 昭 公 使

飯 村 豊 参事官

山 田 勇 一等書記官，領事

三 宅 広 人 二等書記官

古 田 保 ダバオ駐在官事務所所長（領事）

JICAマニラ事務所

御手洗 章 弘 所 長

坂 田 武 穂 次 長

フィリピン日系人会

萩 尾 アルトウーロ 会 長

Bernardo N. Fernandez 事務局長

Romualdo S. Limsiaco 役 員

Felicisimo Kodama Melode 役 員

Teresita M. Villas	役員
Manuel S. Navarro	"
Isabelita C. Jao	"
Vicente Mori	"
Antonio Nakano	"
Ramon Otto Watanabe	"
Isao Elio Setoguchi	"

北部ルソン比日親善協会

Oseo C. HAMADA	会長
Conrado Kato	副会長
Adelaide Y. Chungalao	役員
Dolores T. Escano	"
Johnny N. David	"
Julieta H. Locano	"
Exaltacio T. Goyone	"

シスターTheresia (海野) 顧問

マニラ会

大 沢 清	会長
西 本 至	副会長
山 本 雅 子	日本語教室教師

フィリピン沖縄県人会

矢田尾 好 子	会長
チエコ, メンドーサ	副会長
信 子 比 嘉, Mendoza	"
渡名喜 元 正	事務局長
Jose Shimabukuro Liggayu	青年会長
Robert Tsukamoto Cruz	副会長
Rosita Zukeyama Wenceslao	役員
Anita Oshiro Amadeo	"
Liberty Oshito Amadeo	"
Sally Oshiro Manlugon	"
Vicky Fuarugen Evangelio	"

フィリピン日本人商工会議所

高橋和憲 事務局長

マニラ日本人会

巻木松男 事務局次長

Ⅲ 調査結果要旨及び所感

1 調査結果要旨

フィリピンの日系人は、地域的には、フィリピン南部のミンダナオ島ダバオ市を中心とする南部地域、ルソン島北部のバギオ市を中心とする北部地域及びマニラ市とその近郊の3つの地域にその大部分が居住していると推定されている。

フィリピンの戦前移住については、V、資料3、「フィリピンにおける邦人移民」に詳しいが、ダバオ市等フィリピン南部地域の日系人及びバギオ市等北部地域に居住する日系人は、これら戦前移住者の子孫である。フィリピンは第2次大戦で激しい戦闘の舞台となり、多くの軍人、民間人が戦死したが、これら日系人は、日本人の父親とフィリピン人の母親の間に生まれた混血児であったため、敗戦後も日本に強制送還される父親と引き離されて現地に残り、反日感情の嵐が吹き荒れる中、殺された者も多かったと言う。また幸いにして生き延びた者の多くもその出生をひた隠しにして、山奥に身をひそめて暮していたが、マルコス政権発足後、戒厳令が1972年に発動され治安状況が改善されるようになった頃からやっと日系人とおしの交流もできる様になったと、ある日系人団体幹部は証言している。

現在、両地域の日系人は、それぞれダバオ市に本部をもつ「フィリピン日系人会」（会員約800名）及びバギオ市の「北部ルソン比日親善協会」（会員約1,200名）の2つの団体を組織している。これら団体の活動内容は後に第IV章で詳述するが、相互の親睦、扶助等の活動の他、日本の民間団体の補助を得て、子弟の奨学金事業をその最重点事業として実施している。特に「北部ルソン比日親善協会」は1972年にバギオに渡航したカトリック教会の日本人シスター、テレシア・海野が山中に隠れていた日系人を1人1人探して歩くという難事業の中で同協会を発足させたもので、同氏は現在も同協会の各事業を全面的に支援しており、その献身的努力は特筆に値する。同シスターの指導の下、会員相互の結束も固い。

これら2つの日系人団体によれば、今なお山中に秘んでいる日系人も多く、これらを加えると全体としてはミンダナオ島等フィリピン南部地域に、約3,000～4,000人、又、ルソン島北部地域には、約2,000名の日系人が居ると推定される。

またこれら両地域の日系人の大部分は貧しい農民でありその生活程度は、他の一般フィリピン人同様著しく低い。戦前においては、例えば、1941年（昭和16年）のダバオの邦人人口は約2万人に達し、ダバオはいわば日本人の町として、発達していた。また、バギオにおいても日本人が野菜作り、商業に大活躍しており、地域の経済に大きな影響力を有していたが、これら邦人移住者の発展も第2次大戦で水泡に帰した。敗戦後、財産を没収され日本に強制送還された日本人移住者に代り、現在これらの地域には中国人の進出が見覚しいと言う。

次にマニラ周辺の日系人についてであるが、これは上述の2地域の日系人とは、異なり戦後渡航者とその子弟が中心となっている。もちろん、戦前移住者の子孫の日系人は、マニラ地域等にも居住しているであろうが、その実態を調査するのは困難であった。

現在マニラには、「マニラ会」(会員約100名)と「フィリピン沖縄県人会」(会員約500名)の2つの日系人団体が組織されている。「マニラ会」の会員は、主としてフィリピンに定住し、会社勤めや個人で商売をしている人々で、1/4はフィリピン女性と国際結婚している。また、「沖縄県人会」の会員は、沖縄の米軍基地に軍属として勤務していたフィリピン人男性と国際結婚しフィリピンへ渡航した沖縄の婦人達を中心となっている。職業としては、観光業に就く者が圧倒的に多い。両会の活動は会員相互の親睦を目的としたものであるが、両会とも子弟の日本語教育の為に教室を開いている点が注目される。会員として登録されている者は、両会合わせて約600名であるが、「沖縄県人会」では、会員として登録しているのは、沖縄出身の日系人全体の約1/3のみであるとの指摘もあり、マニラ地区を中心に1,000名以上の(永住者を中心とする)日系人が居るものと推測される。

本調査を進めるにあたっては、種々の制約から日系人団体よりのヒアリングを主な手法としたことは、第1章で報告した通りであるが、その際これら団体の幹部、あるいは会員から現在、彼らの抱えている問題点の説明を受けるとともに、問題解決のために日本政府から援助をして欲しい旨の要望があったのでここではそのうち主要なものについて紹介したい。

彼らの抱える問題点のうち各団体に共通するものの第1は、事務所の問題である。団体により事情は違うが、会館建設助成を希望しているのが2団体(「フィリピン日系人会」及び「北部ルソン比日親善協会」)あり、他の2団体は、十分なスペースを有する事務所借上料補助を希望していた。

第2は、子弟の日本語教育に関するものであり、各団体ともそれぞれに工夫をこらし、日本語教育を実施しているが、教師の確保が難しい事や教材教具が不足している等の問題を抱えている。各団体より、日本語教材の送付等日本語教育支援の希望が出されている。

第3には、日系子弟の本邦研修に対する希望が強く、すでに「アセアン青年招へい計画」等に参加して訪日した者も居るが、今後更に本邦研修の機会を増やして欲しいとの希望があった。

また、「フィリピン日系人会」及び「北部ルソン比日親善協会」では会員の生活安定を目的に農業プロジェクトを計画しており、特に「北部ルソン比日親善協会」では会員が中心となり小規模な農協を運営しており成果を上げているが、各団体ともこれら計画に対する援助を要望している。

また、上記2団体では上述のように、子弟に対する奨学金事業を行っているが、希望者が多く、資金が足りないとの問題を有しており、右資金の助成を希望している。

それから、フィリピンの就職難を反映して、子弟を日本で働かせたいとの希望を表明する者も多かった。

これら各団体の要望事項詳細については、次章及びV.資料3.を参照いただきたい。

2 所 感

フィリピンにおける戦前移住者の子孫である日系フィリピン人の姿は、ここ数年一部マスコミにも取り上げられ断片的に日本にも紹介されてきたが、今回の調査において、短期間かつ限定的ではあったが、直接これらの人々の生の声を聞き、その実態を調査する機会を得られた事は誠に有意義であった。第2次大戦中から戦後にかけて、これらの人々がたどった悲劇の歴史は、彼らの心の中に深く刻みつけられており、その心の傷は、決して癒やされることはないと思われるが、この悲劇を克服して新しい時代の日本とフィリピンの友好関係の増進に努力する人々の姿は調査に携った者の胸を打った。

彼らが組織している2つの日系人団体とも本格的活動ができるようになったのは、ごく最近のことであり、会員の生活も苦しく、その運営は決して順風満帆とは言えないが、それぞれ800人から1200人の会員を有する組織に成長しており、組織作りの第一歩は終えたと言って良く、今後の発展が期待される。現在これら団体の幹部は2世が中心であるが、2世の年齢も、すでに50才を越えており、「北部ルソン比日親善協会」などは青年部が活発に活動しており、近い将来の世代交替に備えている。この世代交代がうまく行くかどうかは各団体の今後の発展がかかっていると言える。この点両団体ともその重点事業として、子弟の育英事業(奨学金)を実施しており、現在次代を担う有意の人材が育っていると思われる。また、「アセアン青年招へい事業」などの訪日研修計画に応募する青年も多く、数名が既に訪日経験を有するが、これも対日関心の高まりを反映していると思われ、これらの青年が今後積極的に日系人会の活動に参加することが期待される。

また、戦後渡航者の集まりであるマニラの「マニラ会」及び「沖縄県人会」についても現在その活動は親睦会的な域を出ないが、両会の最大関心事業は子弟の教育(特に日本語教育)であり、これら定住者の子弟が日系フィリピン人として日本の良き民族的、文化的ルーツを保持しつつフィリピンの発展に寄与して欲しいとの1世の要望が看取された。

これら2団体では、定期的に機関紙を発行しており、その活動は今後益々発展することが期待される。

各団体から調査団に寄せられた要望事項にも反映されている通り、各地域の日系人は、日系社会の活性化を通じて、地域社会の発展のために貢献しつつ日本とフィリピンの友好関係の増進に寄与するとの目的意識の下に各日系人会を運営しており、今後これら団体に対する適切な対応を検討してゆくべきであろうと思われる。また、その際には、日系社会をとりま

くフィリピンの社会自体が未だ貧しい状態にある点を十分考慮する必要がある、日系人のみを対象にした農業援助や会館建設援助は、日比関係の特殊性から同国の国民感情をいたずらに刺激する結果を招く恐れなしとしないので、慎重に検討する必要がある。また特にいずれの地域の日系人よりも要望の強かった子弟の日本語教育支援や訪日研修については、日系人達が自己の民族的・文化的ルーツを求めて日本との関係を強化することは、長期的に見れば日本とフィリピンの関係強化につながることから、これを側面的に支援していくことは、重要な課題である。

さらに日系人の実態については、今般の調査においてやっとその輪郭が明らかになったに過ぎず、今後適当な時期に各日系人団体の協力も得つつ、その歴史的、社会的、経済的側面等の考察にもわたるより詳しい調査が望まれる。

Ⅳ 調査結果（各調査対象日系人団体別）

1 フィリピン日系人会（ダバオ市）

(1) ミンダナオ島の日系人について

フィリピン国南部ミンダナオ島に最初の日本人が入植したのが1900年初期の頃であった。当時、ミンダナオ島ではアバカ（マニラ麻の原料）栽培が行われだした頃であった。アバカはバナナと同様の植物であるが、この作物より製造されるマニラ麻は船舶用ロープ等として利用され輸出作物として目が向けられだしていた作物である。

アバカ栽培が盛んになり、その栽培に要する農業労働者の不足もあり、日本人導入が計画され、1904年頃から日本人入植が開始された。

また、同時期に自由契約移民としてルソン島北部のバギオ市に通ずる道路、ベンゲット道路（別称ケノン道路）の工事労働者の入植も始まっており、最盛期には約2,000名もの日本人が建設工事に従事していた。

道路工事が1905年に終了したのに伴い工事である程度金を蓄えることができ帰国したわずかな者を除き多くの日本人はフィリピンに残留した。

残留日本人の一部は、バギオ市近郊で野菜栽培者として定住したが他の日本人は次の職を求めフィリピンの他地域に移動し、その一部は当時マニラ市で日本人相手に雑貨商を営んでいた太田恭三郎氏の引率でミンダナオ島ダバオに向った。

ミンダナオ島に渡った太田氏は1907年にダバオ市に太田興業を設立しすでに同島にいた日本人と共に本格的アバカ栽培を始めた。

当時、太田氏の他に数社の進出企業もアバカ栽培に取組み同地はアバカの一大生産地と位置づけられていた。当時日系農園は約12社、栽培面積が6,000ha 邦人数400名を数えた。

ダバオ市近郊で太田興業と勢力を二分すると言われた古川義三氏設立の古川拓殖が開設されたのが1915年であり、古川氏の進出により益々アバカ栽培が盛んになり太田興業はダバオ市近郊ミンタル地区を中心とし、他方古川拓殖はトリル地区を中心としてアバカ栽培を営んだ。

これら日本人の進出によりアバカ栽培の最盛期である1941年頃にはダバオ市に在住する日本人は約25,000名を数えると共に耕作面積も60,000ha以上に拡大していた。

この様にアバカ栽培を通じ日本人はミンダナオ島特にダバオ市の発展に大きく貢献した。生産物運搬のための道路整備も大部分は日本人によって行なわれたと言われる。

また、当時のダバオには進出したアバカプランテーション関係の日本人の為の小学校、病院、新聞社、林業、製材業、漁業、建築業等多岐に亘る業種が進出しておりV.資料のダ

ダバオ市旧地図でも明らかなように同市は日本人街として大いに発展していた。

敗戦により日本人の全財産はフィリピン政府に没収され、日本人は全員日本に引上げざるを得なくなり引上げ後の跡地はフィリピン政府よりフィリピン人に分割譲与された。日本人が苦勞して開拓した農地もフィリピン人の手に渡った後はアバカ栽培は行なわれず今はその跡形もない程荒れてしまっている。我々は調査中に太田興業、古川拓殖跡地を視察したが現在はココヤシ、トウモロコシ、米、豆、マンジョカ等が僅かに植付けられている状態で他は原始林化していた。

敗戦により日本人の引上げが実施された中で日本人男性と現地人女性との間に生まれた子供達は日本に帰国することなく同島に残留した。

残留した日系人はフィリピン人による迫害を恐れ名前を変え身分を隠さなければならず、また近隣の日本人との交渉も絶ち山奥へ逃げのびなければならなくなった。

人によっては 10 数年この様な生活を送った者も居るとのことであったが山奥に逃げのびた人は農業を、また、海岸に逃げた人は漁業をして細々と生計を支えていた。また都市近郊に残った人達は街頭でたばこ売り等の小さな商売をして生計をたてていた。

1972 年戒厳令が布告され、それ以後治安が安定したこともあり日本企業のフィリピン進出が開始され、その時期にミンダナオ島にも木材関係の貿易商、漁業関係者の進出が行なわれた。これら日本人の進出とフィリピン国内の政治・経済の安定化もあり、同島の日系人どおしの交流が少しずつ見られるようになった。

(2) フィリピン日系人会について

フィリピン南部、ミンダナオ島、ダバオ市に「フィリピン日系人会」が結成され、公益法人として認可されたのが 1980 年 5 月 6 日であるが、結成前には進出企業の指導、協力により同島在住で各地に分散していた日系人の確認と種々の連絡を主とした日系人連携活動が行なわれていた。

日系人在住者の確認は現在同会会長である萩尾氏による戦後長期間に亘る努力の積み重ねの結果である。これら確認された日系人を結成すべく指導・協力したのが木材関係貿易商としてダバオ市に進出した久保田氏（ライオンズクラブ会員）であり、世界救世教の宮本牧師であった。

現在同会の会員は 800 名を数えているが日系人全員が加入しているわけではない。例えばダバオ市においても現在加入日系人は在住者の 50 % との事であり、生活安定者程当会に加入をすすめても、その必要なしとして加入しないという状況にあり、今後、同会会員である日系人のステータスが上ると共に安定した活動をする事によって未加入者も加入するであろうとの会長の言であった。ダバオ市以外においても同様で、現在まだ奥地に多くの日系人が隠れて生活しているが治安状態の悪い同島においてこれら日系人を捜し出すに

は大きな危険が伴うため治安状態が安定次第調査の上加入をすすめるとの事であった。

同会の推定によれば同島を中心とする南部地域在住日系人の総数は約 3,000~4,000 人に達すると見られる。

800人の日系会員を擁する同会はV. 資料定款によれば利益を目的とした活動団体ではなく、会員の親睦を目的としていると共にフィリピン全国の日系人団体として位置づけられているが現在同会はミンダナオ島在住者を中心とした会員で構成されており他地域の日系人会との連絡は全くなされていない。

「フィリピン日系人会」は現在会長、萩尾アルトゥーロ（二世）の他事務局長、副会長、理事、計 11 名の役員で構成されている。本部事務所はダバオ市に設置されており、下部組織とし 8 支部が設置され、各支部に支部長、副支部長が選出され、これら支部委員が本部からの種々連絡事項を会員に通知する等会員のとりまとめを行なっている。

同会の会費は月額 1 ペソ（10 円）であるが、奥地在住会員の多くは支部、本部に出てくる交通費捻出にも事欠く程生活が苦しい人がある。また本部、支部の近くに住む人も生活の苦しい者が多く会費の納入状況は芳しくない。その為年間収支計画も作成困難で事実作成していなかった。

運営費不足から、現在ダバオ市に設置されている会事務所も世界救世教ダバオ支所の一角を無料借用したもので、そこを拠点として活動が行なわれていた。

会の活動の目的である親睦活動も会費の納入状況より限界があり現在は冠婚葬祭の際の費用を支出するに止まる。

その他同会は支部の役員を対象とした講習会の開催、日本にて毎年開催されている海外日系人大会への代表団の送付、会員子弟に対する奨学金の支給等も実施しているがこれら会の事業はほとんどが主として日本の団体、個人からの寄付で賄われている。

寄付者の 1 人として平原氏がいる。

平原氏はかつてミンダナオ島に移住しダバオ市に住んでいたが戦前台湾の上級学校へ進学の為同島を離れ、敗戦により日本に帰り現在都内で歯科医院を経営している。同氏を中心に戦前・戦中ミンダナオ島ダバオ市で生活し、戦後日本に帰国した人達を中心とする約 400 人が集まり「フィリピン日系人友の会」が 1983 年 11 月 3 月設立されている。

同友の会は現在社団法人として法人格を取得することを考慮中であるが、同会の目的はフィリピン日系人会を育成・助成することである。

「フィリピン日系人友の会」の事業目的は下記のとおりである。

- ① フィリピン日系人の奨学資金に対する助成
- ② 「フィリピン日系人会」主催の学会、講習会、研究会の助成
- ③ 海外日系人大会へのフィリピン日系人会代表者の招聘

- ④ 「フィリピン日系人会」の施設及び設備の助成
- ⑤ 日本語習得に対する援助
- ⑥ 日本留学及び技術修得に対する支援
- ⑦ 現地における日系人就業に対する支援
- ⑧ 会誌の刊行

現在同会は、「フィリピン日系人会」が実施している講習会の開催、海外日系人大会への参加、奨学金支給事業等への資金援助を行なっている。

特に奨学金については毎年支援を続けており昭和 60 年には 24,000 ペソ（約 240,000 円）の援助を行なっている。

その他の寄付者としては現地で布教活動をしている世界救世教の田中氏があり、同氏より例年支援がなされ本年は 8,000 ペソ（約 80,000 円）が寄付されたが、この寄付金も奨学金として学生の援助に向けられていた。

(3) 奨学金支給事業について

フィリピンにおける学校制度とダバオ市周辺における学費（授業料）については表 1 のとおりである。

同会会員子弟の進学率は小学校入学者は 100 % であるが、小学校終了者の上級校（高校）への進学率は会員各員の生活が困窮状況にあるため低いとの事であった。

高校進学率はダバオ市内在住の会員子弟については約 50 % で全会員の子弟を対象とした場合は 30 % 以下であり、大学になるとダバオ市在住者については約 50 % と高いが全会員となると極めて僅かであるとの事であった。

これら子弟の上級学校への進学率を高めるため同会奨学金による育英事業が行なわれているが量の問題で受給者数も限定されている。奨学金の内容は高校生と大学生を対象とした授業料援助であり、1985 年の実績では、表 2 のとおり 32 名を支給対象としている。受給希望者は毎年非常に多く、資金に限界があることから、同会では厳しい選考により奨学金受給者を選定している。また支給決定後の管理も厳しく行なっており、受給者は各期の定期試験結果を同会に提出する義務があり一教科でも 85 点以下の場合奨学金助成が打ち切られる。そのこともあり受給学生の勉学態度は極めて良好であるとの事であった。

表1 フィリピンにおける学制と授業料

学校	年数	所要授業料 (年間)
小学校	6年	公立 約 300 ~ 500 ペソ (約 3,000 ~ 5,000 円)
		私立 約 1,000 ペソ (約 10,000 円)
高校	4年	公立 約 600 ~ 700 ペソ (約 6,000 ~ 7,000 円)
		私立 約 1,000 ペソ (約 10,000 円)
大学	4年	約 3,000 ペソ (約 30,000 円)

表2 奨学金受給者数及び支給額

学生区分	受給者数	奨学金支給年額
高校生	20名	1,000 ペソ (約 10,000 円)
大学生	12名	3,000 ペソ (約 30,000 円)

(4) 日語教育の現状について

「フィリピン日系人会」の会員は2, 3世が大部分で、現在家庭内の会話は現地語が使用されており2世にも現地語だけを理解する人が多い。

戦後、日系人であることを隠し長い期間生活していたこともあり日本語を忘れてる人も多く現在日本語を話す人は少ない。

最近日本語習得の気運が高まり会員の日本語習得希望者も多いが日本語専門教師は同島に皆無であったこともあり戦前の国民学校3年修了者である会長、萩尾氏の指導による日本語教室が1984年6月～1985年2月までの9ヶ月間同会の支部があるタグン、サンタクルス両地区において実施された。同日本語教室では国際交流基金から援助を受けて、同基金作成の教材(英語版)を使用し、週1回7～18才の会員子弟を対象に講習を実施したが同島の治安状態が悪くなり同年10月以降は中止せざるを得なくなった。

その他日系人を対象とした日本語教室がトリル地区にて開設されたこともある。この授業の指導は日本からの進出企業家で木材関係の仕事に従事していた久保田氏、山田氏の協力を得て夏休み期間の2ヶ月を利用し実施されたとの事であるが現在は実施されていない。

また、ダバオ市にある私立学校で中国語、フランス語、ドイツ語と同様に日本語コースを設定し実施していた時期もあったが先生がいなくなり現在は実施していないとの事である。従って現在全く日本語に関する学習が不可能となっている。現在同会では日本語教室再開のための下準備を始めており、日本語教室実施場所としてダバオ市公立学校の教室を借用利用することの内諾を市当局より得ると共に、もし日本より教師の派遣の可能性があれば宿舎の確保(会員宅に下宿させる)も出来ているとの事であった。

この件については、大使館在ダバオ駐在官事務所では、同島の治安状況が悪いのが一

番の問題で現在の治安状況では日本から教師が派遣されても安心して活動ができる状態ではないとコメントしていた。

(5) 日系人の生活状況について

当該事項については同日系人会役員から聴取した概要と今回調査可能であったダバオ市近郊日系人宅の一部を訪問した結果も併せ報告する。

同会日系人の多くは農業従事者であり会員の70%強を占めている。

これら農業従事者のうち借地農は約30%を占め、残りの70%は1ha～20haの土地所有者であるとのことであった。

借地農の多くは戦後フィリピン政府による日本人の財産没収にあった人達である。これらの人達は自給用の米を栽培する傍ら販売用としてトウモロコシ、豆、ココヤシ等を植付けている。

これら借地農の借地料支払い方法としては金銭で支払う方法と生産物をもって支払う方法があるが金銭で借用する場合、土地の条件によっても若干異なるが一般的に年間必要経費は1ha当り800～1,000ペソ（円換算8,000～10,000円）である。多くの借地農が行なっている方法は借地料を生産物をもって支払うという方法で生産物の1/3を地主に支払っている。

これら農民の生活状況からして肥料が高価な為無肥料栽培を行っており当然のことながら土地生産性も上らず生活の余裕は全くない状態の人が多い。

現在土地を所有している者は戦前父親が所有していた土地を戦後、母であるフィリピン人女性の名義に変更したことにより、没収を免れ戦後もこれらの土地で営農してきているが、相続による兄弟間の財産分割により土地面積は小さくなり現在、平均所有面積は5haとなっている。5haの土地をもって米、トウモロコシ等を生産しているこれらの人は借地農よりは良い条件にはあるものの一般的には楽な生活状況にはない。

農業者以外の日系人の中には戦没者遺族による慰霊団等の現地案内をして生計を立てている者も多いが旅行者の来訪時期も限られ年間を通じ仕事がある訳ではないので収入の安定は望めない。

その他教師、銀行員、商業等に従事している者もあった。

次に訪問した日系人家族の概況を下記する。

① 執行 操（日系二世 出身 佐賀県）

ダバオ市にて眼鏡店と眼科医院を経営

夫 中国人（建築業）

子供 1男2女 長男：航空士官学校学生

長女：眼科医（フィリピン人と結婚子供1人）

次女：学生（薬学）

執行操氏の兄弟は、1人はカナダ国籍、他の1人は米国籍、本人は毎年3～4ヶ月米国に旅行しており日本の親類を訪問したこともあり、生活程度は他の日系人及び一般のフィリピン人に比較すると格段に高い。

② 中山（日系2世）

ダバオ市近郊にて農業経営。現在当人と夫は病気の為次男が農業で家族を助けている。

夫：中国人（農業）

子供：2男6女 長男：独立し鉄鋼所勤務

次男：農業

6人の女子：未婚で各人就職

両親は30haの土地を所有していたが、兄弟が独立して分割し、中山氏の場合3haをもって米（自家用）、トウモロコシ、豆（販売用）を栽培し生計をたてている。現在食べるだけが精一杯の状況。

③ 徳永 茂（日系2世 58才日本国籍 鹿児島県出身）

ダバオ近郊トリル地区支部長、小さな雑貨商を経営

妻：フィリピン人（山岳民族のバボゴ族）

子供：男3人 長男：映画館勤務

次男：高校生（奨学金を受給）

三男：小学生

徳永氏は山間に2haの土地を所有しているが共産軍の拠点でもあり営農出来ず、現在小作人に貸している。本人はトリル地区に家を購入し住んでいるが胃潰瘍、糖尿病にかかっており、家計事情もあり病院にも通院出来ず自宅治療をしている等現在生活苦の状況にある。

④ 中村トシコ（日系2世 65才 フィリピン国籍 山口県出身）

ダバオ近郊トリル地区に在住し次男家族と同居

夫：フィリピン人で既に死亡

子供：2男 長男（33才） 土木技師子供3人ダバオ在住

最近強盗に襲われ一命をとりとめるという事故に遭う

次男（31才） 子供2人、近くの工場で就労、夫婦共稼

同氏の兄と姉は日本に在住。音信は不通。フィリピンに残留したのは終戦時既にフィリピン人と結婚していたためである。現在の生活状況は食べるのが精一杯の生活であり、子供達を日本に行かせたいとの事であった。

⑤ 前田昭三（日系2世 フィリピン国籍 熊本県出身）

父親はベンゲット道路工事労働者として移住。戦前三井物産に勤務し、戦後は迫害を恐れ山の中に逃げ農業を営んでいたが20年前に土地を処分し現住地トリル地区に移り機械等の修理をし生計をたてている。

夫人：フィリピン人

子供：1男2女 長男：近くで修理工をしている

長女：フィリピン人と結婚マニラ在住

次女： " " ダバオ在住

現在夫婦2人で生活しているが仕事の機械修理も最近は少なく月に1件あるかなしかの状態であると共に本人は神経痛で悩み、子供達の援助も期待出来ない状態であるため、日本よりの援助を期待している。

以上、今回個別訪問した数例を記したが、フィリピン国では貧富の差が非常に大きく、今回調査では年間生活収支の詳細な調査は不可能であったが、一部には恵まれた生活をしている会員もいるものの、それはごく一部であり多くの会員は非常に貧しく食べるだけがやっとという生活状態であることが認められた。

(6) 要 望 事 項

① 会館設置

ダバオ市には日系人の他に華僑(中国)が非常に多く在留し、これら華僑は結束も固く中国人会を結成し会館、病院、学校等諸施設を設置し活発な活動を行なっている。

この様な中国人会に比し日系人会は現在、会事務所を日本人宗教家より無料借用している状態であり、事務所は狭く会員全員が集合出来る場所ではない事と自由に会員が利用出来る条件にない等の理由により強く会館設置を要望している。

既にダバオ市中心に会館設置のための土地を物色し会館の利用計画も作成され、その目的も多目的であり、事務所、会員のための講堂、食堂の他、最近日本からの訪問者も増加していることからこれら訪問者と奥地から出て来た会員のための宿泊施設、土産店等の設置を計画しているが会運営の現状より会費からの資金捻出は不可能なため土地購入費を含め全所要経費の援助要望があった。

② ラミー農場経営経費補助

会員の70%以上を占める農業経営者、その中には借地農も多く、全会員の平均土地所有面積は5haと低く、また生活が苦しいため営農資金も乏しい状況にある。

これら会員の生活向上を図るため経営面積の拡大を考えなければならない。その方法としてVの資料の要望書のとおり借地料を含めたラミー農場経営経費の日本からの援助が

必要であるとフェルナンデス理事長は語っていた。

ラミー（麻の一種でテーブルクロス、カーテン、刺しゅう用布地の原料）を選定した理由は他の食用作物を栽培した場合治安状態の悪い当地では収穫前に盗難の恐れがあること、ラミーにはその心配はなく、永年作物であり7～8年の栽培が可能、管理作業も容易で経費もあまり必要としないという利点もあるからとの事であった。

一般的ラミー栽培の収支状況は（1ha当り）

収 入	支 出
年間刈取り回数 8 回	経費は販売額の 50 %
1 回当り 100kg が可能	12,000 ペソ × 50 %
800kg / 1ha × 1,500 ペソ / 100kg	= 6,000 ペソ (約 60,000 円)
= 12,000 ペソ (約 120,000 円)	

以上の様に 1 ha 6,000 ペソ (約 60,000 円) の純収益をあげる事が可能である為この収入をもって会員の生活向上を図ることが可能と同会は考えこの計画への援助要望があった。

ただ上記要望は調査時点では同会役員会の承認を得ているものではなかった。

③ 子弟の日本招へい、技術研修受入

現在 JICA が実施しているアセアン青年招へい計画に現在迄 8 名応募したが 1 名の派遣が実現したのみである。同会の日系人は 2 世、3 世が主体となっているが同会では 3 世となると現地での教育のみを受けた者であるため日本人としての気質、礼儀正しさに欠けるので、これら 3 世を祖父母の地日本を訪問させ僅かな期間でも滞在させ、日本の生活風習を体験させることに意味があるとしている。

他に近年日系人子弟の上級学校進学は高まりつつあるが、生活状況により進学出来ずに何ら技術を習得しない子弟も多い。失業率の高い同国において何ら技術を所有していないこれら子弟は就職が非常に困難である。

これら子弟を先進技術の国日本において研修させることが出来れば彼らとその技術をもって今後フィリピンで大きく活躍することが期待出来る。現在フィリピンに適用される日系人を対象とした研修制度は皆無であり、今後研修の途を開かれたいとの要望があった。

④ 日本語教室の開設、教師用指導書について

日系人の日本語教育に係る要望については前記した通り日系人を対象とした学校開設をもって対応したいとの役員会の要望があり、教材として指導書の送付方援助要望がなされた。

⑤ 奨学金援助について

現在は日本及び現地の寄付をもって奨学金支給を実施しているが、受給者に対し卒業後の返還義務を課していない為、毎年支給資金の確保が必要であり、現在受給希望対象者が大勢待機していることもあって育英資金の援助を求めている。

2 北部ルソン比日親善協会（バギオ市）

マニラの北方250km、標高1,500mの高原都市バギオ市周辺に居住する日系人は、1903年（明治36年）から1904年（明治37年）にかけて、当時アメリカが避暑地として開発を進めていたベンゲット州バギオに通じるベンゲット道路（別称ケノン道路）の難工事を完成させるために、日本から渡航した約2,300名の「ベンゲット移民」の子孫である。現在「北部ルソン比日親善協会」には約1,200名の会員（V資料1参照）が居るが、このうち2世は206家族、3世以降が126家族である。また未だ山中に身を隠している者も多いといわれておりこれらを含めると日系人総数は2,000名を超えると推定される。会員は、農業を営む者が多いが、その他商業を営む者や教師をしている者も居る。生活程度は裕福で、安定した生活を営む者はわずかに4～5名で、半分は、中流（月収約800ペソ、1ペソ＝約10円）、その他はそれ以下の生活を営む者で、会員の生活は一般に苦しい。日系人の生活程度がこのように低いことの背景には、戦後日系人の大部分が、フィリピンにおける極端な反日感情の中で日本名を捨て、身分を隠し山中に身をひそめて暮らしていたために、戦争で失われた生活基盤が長い間回復しなかった事情がある。

戦前においては、「ベンゲット道路」の難工事が1905年（明治38年）に完成した後も、邦人移住者の一部はバギオに残留し、農業を始めたが、これが基盤となり、のちにバギオ及びマニラへの有数の野菜供給基地としてのトリニダット農園（バギオ市郊外）が生まれた。最盛期には、邦人戸数約60戸400人を教え、商業においても邦人の発展は目覚しかった。現在、戦前の日本人に代わり、同地域にも中国人の進出が著しいと言う。

これら日系人が、「北部ルソン比日親善協会」を設立し、活動をはじめることになった背景には、1人の日本人の献身的な努力があった。カトリック教会のシスター テレンシア・海野は、1972年（昭和47年）にカトリック教会から同地に派遣されて以来、今日まで、山中に身をひそめている日系人1人1人を探して歩いた。当初は、反日感情も未だ厳しいものがあり、日系人の中には同シスターの真意を理解せず、警戒心をいだく者もあり、日系人探しは難行したと言う。今では、同親善協会には1,200名の会員がおり、同シスターは、会の各種事業に対する指導に忙しいが、現在同会の活動が活発に行なわれている理由の1つは、同会の幹部がこれまで日系人の発展のために骨身を惜しまず働いてきた同シスターに絶大なる信頼感と感謝の気持ちをいだいており、その恩に報いるために一人一人が自覚を持って会の

運営に携わっていることにあると思われる。

「北部ルソン比日親善協会」の設立は1972年（昭和47年）である（正式登記は、1983年6月2日）。同会の定款及び会員名簿はV資料1を参照いただきたい。現在の活動の主なものは、会員の相互扶助、親睦を目的とした行事（クリスマス等）及び子弟の育英奨学金事業である。会の組織は、2世と3世の既婚者が参加する2世会と3世以降の世代の青年部を有する。総会は毎年1回であるが2世会の月例会は月1回第2日曜日に、また青年部も毎月第1日曜日に月例会を開いている。また、事務所や総会が開ける施設は財政的事情で独自のものは持っておらず、シスター海野の所属する聖フランシス修道院（Saint Francis Convent, #1 Kennon Road, Baguio City）の中に事務局を置くとともに、総会、月例会も同修道院で開催している。現在同協会の会長は、浜田オセオ氏である。浜田氏はバギオ市でBaguio Midland Courierという週刊新聞を発行する出版社の社長を務める傍ら、地区のバランガイキャプテン（バランガイは、フィリピン独特の行政組織）を務める地元の名士の1人である。同氏は、13年前の1972年（昭和47年）シスター・海野に出会い「親善協会」を設立して以来現在まで会長の職にある。また、会長を補佐し実質的に会の活動を担っている役員は、副会長以下7名であるが、そのうち1名のみが3世であり、残りは全て2世である。

現在、会員が納める会費は、月額2ペソ（1ペソ＝約10円）で日本の感覚からすると大変少額であるが、これさえ払えずにいる会員も居ると聞いた。1986年、会費は2ペソから5ペソに値上げされることになっている。いずれにしても納入会費だけでは会の活動はできないので日本の民間団体からの寄付金をもって各種事業を運営している他、シスター・海野の教会関係の一般寄付金等の一部が会の運営や事業の実施のために支出されている。

会の全予算規模は、1984年度で約330,000ペソ（1ペソ＝約10円）であった（V資料1参照）

同会が最も力を入れて、予算の大部分をつぎ込んで実施している事業は子弟の育英奨学金事業であるが、現在奨学金を受けている者は大学生70名、高校生98名の計168名である。事業資金は、東京の城西ロータリークラブからの寄付金で運用されているものと、それ以外の民間からの寄付金で運用されているものの2種類ある。また、日系人子弟以外（フィリピン人）の青少年48名にも奨学金を支給している。さらに同様の趣旨で山間の僻地からバギオ市へ勉強に来ている者への生活援助（寄宿舎料の補助）も行っている。奨学金事業は、大学生の場合希望者総数の約90%、又高校生の場合は、同約70%に対して支給されているが会では希望者が多いため、1家族毎の支給人数に限度を定めており、会員子弟が平等に本事業の恩恵に浴する様配慮されている。また、本事業に係る管理も厳格に行なわれており、奨学金は全て直接学校宛に支払い形がとられているし、各学期毎の学業成績のチェックも厳

しく行なわれている。また事業のプライオリティーは、高校生に対する奨学金におかれているとの説明があった。

同協会では、上記事業に加え、会員の相互扶助や親睦活動を行っている他、旧日本兵の遺骨収集団への協力、日本の肉親探し（日本のマスコミを利用している）や日本への里帰り等の事業、さらに、毎年1回東京で開かれる「海外日系人大会」への代表団の派遣も行っているが、これらの活動資金の大部分は、シスター海野の自己資金（教会への寄付金）でまかなわれているのが現状である。

子弟の日本語教育についても、会員の関心は高く、現在小規模ながら市内のYMCA及び会員（GOYONE氏、日本名竹下土産店経営）宅でそれぞれ週1回日本語教室が開かれており、計約20名の子弟が日本語を勉強している。教師は、当地に派遣されている協力隊員4名が勤務の合間をみて交替で教えている。教科書は、国際学友会編「正しい日本語」及びフィリピン大学日本語コース編「はじめましょう日本語」を使用している。協力隊員はそれぞれ、養蚕や農業土木等の隊員達であり日本語教育の専門家ではないが、同じくフィリピンに派遣されている日本語指導隊員のアドバイスを受けながら教えており、彼らの協力は、日系人を含む地元の人達から高く評価されている。

また、直接的には、協会の事業ではないが、昨年9月には日系家族を主な会員とする「バギオ・トリニダット・バホンアラバン農協」が発足し、日系農家の生活安定に貢献している（V資料1参照）。同農協加入の家族数は73家族で日系農家はその半数以上を占める。現在の主な事業は、野菜（日本野菜）を集荷、包装し、週1回マニラヘトラックで出荷し、マニラの日本人コミュニティーを対象に販売しており、マニラの市場には日本野菜がほとんど出まわっていないため、マニラの在留邦人に喜ばれている。現在農協の収益金の大半は本事業から得られるものであると言う。また、民間の技術協力団体であるOISCAから同地に派遣されている滝田氏が、新品種の導入等農民に対する技術指導を行っている。同農協が日本野菜の販売で成功していることは、地元の関心を集めており、現地の中国人グループも本事業に乗り出す気配を見せており、将来の競合の可能性を心配する声も聞かれた。本事業にもシスター・海野がいろいろな面で支援を行っている。

次に調査団が「比日親善協会」の幹部と話し合った際や、たまたま二世会の月例会に出席する機会を得た際に彼らから出された日本政府に対する要望事項について、その背景、内容等を以下に述べることにする。（関係資料については、V資料1を参照願いたい。）

(1) 会館の購入

現在本会の事務所及び集会所は、シスター・海野の所属する修道院を利用しているが、同会では、会館の購入を計画しており、現在適当なスペースを有する事務所及び会議室のある物件を探しており、調査を行った既存物件から推定すると、土地・建物込みで約200

万ペソ（1ペソ＝約10円）の予算が必要であると考えている。会館の購入は、会の発展にとり最重点事項であるので本会館の購入について日本政府の助成をいただきたい。

(2) 日本招へい、本邦研修制度の拡充

会員の間では、子弟の本邦研修等の機会を望む声が強く、かかる機会が与えられることは、日系社会の活性化の為に重要であるので、研修等子弟の訪日枠を拡大して欲しい。具体的には、「アセアン青年招へい」枠の拡大、技術研修（中等教育終了者等に対する技術研修に加え、医者、弁護士、コンピューター技術者等を対象とする高度技術の研修も含む）枠の拡大、訪日団（里帰り）制度の創設を希望する。日系子弟でこれまでに本邦で研修した者は、「アセアン青年招へい計画」、OISCA受入の技術研修、長野県の上田ロータリークラブ招へいの技術研修による訪日者である。

(3) 子弟の日本語教育

現在小規模ながら日本語教室を週2回開いているが、将来はこれを更に発展させていきたいので、日本語学校の開設、教師の派遣、教材及び教師用指導書、現地日本語教師の養成等に関し、援助を希望する。

(4) 子弟育英奨学金の原資の助成

会の最重点事業として実施している。希望者全員に奨学金を支給したいと考えているが、現在の資金では足りない（現在の充足率は、70%（高校生）～90%（大学生）である）ので、日本政府の助成をお願いする。

(5) 農協関係

- ① 会員は僅少の土地を所有する者又は借地農であり、農協は生産向上のための共同生産地1ヘクタールを購入する計画を有しており、右援助方要請する。
- ② 主要生産物である日本野菜の種子が高価であるため、種子購送方要請する。
- ③ 現在マニラへの野菜出荷用トラックは1台しかなく、故障した場合農協の事業に大きな支障を生じるところ、もう1台の輸送用大型トラックの購入援助方要請する。

(6) その他の要望事項

- ① 日本人墓地の境界を明確にする為の柵の設置等の補強措置（所要経費約42000ペソ1ペソ＝約10円）。現在日本人墓地への中国人の侵入と不法使用が増えている。
- ② 拡声器の供与
総会及び月例会で使用するもの
- ③ 日系人実態調査の実施
詳細な実態調査のための資金援助要請

3. マニラ会(マニラ市)

(1) マニラ市の日系人について

マニラ市在留の邦人数については、在フィリピン日本国大使館の在留届に基づいた人数は表1のとおりで、長期滞在者、永住者、永住者のうち2～3世である日系人を含め2,758名となっている。

第2次世界大戦の敗戦により、戦前、戦中に日本から進出した企業は全員引き揚げ、その後、フィリピンへの日本企業の再進出は、1972年マルコス大統領により戒厳令が施行されフィリピン国内の政治、経済が安定するのを待たなければならなかった。

1972年以後日本の大企業、中小企業、個人によるフィリピン進出が非常に盛んになりめざましい発展をしめして今日に至るが、ここ2、3年はフィリピンの経済状況低迷により、一部進出企業の引き揚げも見られる状況にある。

マニラ市には現在これら進出企業の関係者により設立された在留邦人の親睦を目的とする「マニラ日本人会」と経済活動を主目的とする「フィリピン日本人商工会議所」の2つの団体があるが、これら邦人の団体は進出大企業の駐在員を中心として構成されている。大企業所属の邦人の場合フィリピン駐在期間が短期で2～3年、長期でも3～4年と限定されていることもあり、これではフィリピン国と日本国の真の親善交流が図られないとして、フィリピンに定住する有志によりマニラ会が設立された経緯がある。

マニラ在住邦人数

総数(1+2+3)			1. 長期滞在者			2. 永住者 (日本国籍保有者)			3. 日系人		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1,656	1,102	2,758	1,551	923	2,474	75	169	244	30	10	40

注：海外在留邦人数調査統計昭和56、60年、外務大臣官房領事移住部領事第2課編

(2) マニラ会の結成について

マニラ会はフィリピンに定住する日本人が相互の真の交流を目指すべく1984年7月に結成したもので公益法人登録も終了している。

結成後、年数は浅いが同会の会則(V.資料)にもあるとおり、長期滞在を志す日本人および日系フィリピン人等で構成されており、これら会員相互の親睦を図りかつフィリピン社会に根を張った真の日比親善に貢献することを目的としている。

同会の役員は会長1名(大沢 清)、副会長2名、総務、企画、渉外、広報、文化、厚生、メンバーシップ、レクリエーションの各担当委員長1名で構成運営されている。役員のフィリピン滞在年数は会長が60年、その他役員の中で一番年数が短い人で5年、平均10年以上となっておりそれぞれフィリピンを生活根拠地とし、定住し会社等を経営し

ている人ばかりである。会員をみると進出大企業者で構成されているもうひとつの会である「マニラ日本人会」の会員と異り、「マニラ会」会員はどちらかといえば一匹狼的存在の人で、個人でフィリピンに進出した人達がほとんどである。

同会は会員と賛助会員の2種類の会員制をとっており、会員はフィリピン在留者であり、賛助会員はフィリピン国内あるいは国外の個人及び法人であるが、主として日本在住で戦前、戦後を通しフィリピンに何らかの関係のあった個人及び法人がその大部分をしめている。

一方、会員数は今回調査時点で103名を数えており、これら会員は表2のとおりフィリピンに定住することを目的とした人々である。103名の内大部分は日本よりの進出個人企業者達でしめられているが、これら会員のうち現地でフィリピン女性と結婚している日本人が24名で会員の約23%をしめ、他にフィリピン人5名も同会に加入しているがこれらフィリピン人は日本女性と結婚しており、夫人である日本人を通じ日本人との関係を保ったり仕事の関係で日本との関係が深い人達である。会員である日本人がフィリピン在住10年以上の長期滞在者である点が「マニラ日本人会」と異るところでもある。

表2 会員構成内訳

	人 数	比 率
日本人(妻帯者, 独身者)	79人	72%
日本人で妻がフィリピン人	24	23
フィリピン人	5	5
計	103人	100%

会員の職種については表3のとおりであり比較的限られた職種であるのが特色といえよう。1番多いのがサービス業で44%をしめており職種内容は、日本食、ラーメン屋等の食堂経営とカラオケバー等の飲み屋である。

これら飲食店経営の他に多いのが旅行業者である。これら旅行業者は日本の旅行業者とタイアップして日本からの観光旅行者を相手として営業するとともに、戦争中各地で出た数十万人の戦死者の遺族の訪比等を相手として営業している。その他のサービス業としてはフィリピンの芸能を日本にプロモートするプロダクション経営者も含まれている。

2番目に多いのが30%をしめる貿易関係者で、これら貿易関係者はフィリピンから日本への輸出に携るものが多い。日本指向が非常に強いことが特色で、たとえば漁業、サメエキス等の輸出も世界を対象としたものではなく日本のみを対象としたものである。

第3位は農業等自営業であるが、農業経営者はマニラ市以外の各地に在住している。戦前は農業関係者が多かったが戦後は非常に少なくなった。また日本人の場合米国企業と異なり

大規模の経営ではなく小規模農業経営が多い。たとえばルソン島北部のパギオ市近郊でいちご栽培をし、生産物を日本に輸出しているといった内容の農業経営者がこの中に含まれている。

上記業種の他には、日本からの進出企業や報道機関に勤務している人達、また、その他業種の 19 人の中にはフィリピン滞在中の宗教関係者、無職でフィリピン国に定住している人達が含まれている。

表3 業種別会員数

業 種	会 員 数	比 率
サ ー ビ ス 業	45 名	44%
貿 易 商	31	30
農 業 等 自 営 業	6	6
進 出 企 業 等	5	5
そ の 他	16	15
計	103 名	100%

(3) マニラ会の運営、活動について

マニラ会の運営は構成会員の会費、月額100ペソ（日本円換算で約1,000円）、賛助会員からの会費、個人年間会費1,000ペソ（日本円換算約10,000円）と法人会費2,000ペソ（日本円換算約20,000円）、その他好意的な関係者の寄附金により賄われている。昨年の同会の収支報告は表4のとおりであり、日本国内の賛助会員会費による収支とフィリピン国内における会費及び寄附金による収支の二本建て報告されているが、日本国内の場合、賛助会費、寄附金収支に対し支出の大きな割合をしめているのが印刷代である。これは同会会報の印刷がマニラで実施された場合、よい印刷物にならないうえ、印刷代も高いため日本で印刷していると会長より説明があった。V.資料のように立派な会報が発行されているがそのための費用として会費の大部分が支出されている。

表 4. 「マニラ会」収支報告書

マニラ会収支報告書		(フィリピン共和国マニラ市) 自1984年7月26日 至1985年6月30日	
(日本) 自1984年7月26日 至1985年6月30日			
※収入の部		※収入の部	
○賛助会費 375,000円		会費 円89,370	
個人 255,000円 (@15,000円×17人)		広告料 円21,500	
法人 120,000円 (@30,000円×4人)		コミッション 円927 ⁴²	
○寄附金 570,000円 (4人)		寄附金 円20,882	
○預金利子 5円		その他 円1,215	
計 945,005円		計 円133,894 ⁴²	
※支出の部		※支出の部	
○印刷代 (マニラ会報外) 467,000円		事務用品代 円862 ⁴²	
○会報送料 ・航空国際貨物料金等 39,205円		交通費 円1,118 ⁴²	
・郵便料 51,665円		Plaque代 円10,050	
・荷物(会報)超過料金 72,800円		ゼロックスコピー代 円864 ⁴⁵	
○事務用品代(ゴム印, 印章その他文具) 19,015円		入会申込書印刷代 円4,130	
○国際電話料 60,390円		会報印刷代 円32,630	
計 710,075円		郵便料 円382 ⁴²	
収入 945,005円	差引残金 234,930円	人件費 円5,630	
支出 710,075円		月例会費 円10,727 ⁴³	
上記のとおり報告します		子ども会経費 円30,000	
1985年7月25日 (島田)		その他 円2,766 ⁴⁵	
		計 円99,161 ⁴⁵	
		収入 円133,894 ⁴²	残高 円34,732 ⁴⁷
		支出 円99,161 ⁴⁵	
		上記のとおり報告します	
		1985年7月25日 (島田)	

一方フィリピン国内の収支については会員の会費及び寄附金等の収入に対し、支出は会運営経費が主体である。同会は独自の事務所を所有していないが、調査時、同会事務所として総務担当役員である個人の営業用事務所を無料にて借用していたため事務所借上等の運営経費が計上されていない。

以上、同会の運営をみるとフィリピン国内に設立されている他の日系人会より、会員各位の会費負担額が高いが、これは会員の経済状況が他の日系会より恵まれた状態にあるためと見てよい。会長の話によると同会においても会員の職業が貿易、サービス業の人が多くこれら会員の営業浮沈が非常に激しく、ときには会費滞納者が出ることもあり、こういう場合滞納者は自然に会を離脱するという現象がみられる等、会としての運営上の問題も内包している。今後このような状況になった会員を自然脱会させることなく会を運営すべく改善する必要があるとのことであった。

同会は年1回の総会開催と月1回の定例会が開催され月例会等を通し種々活動が実施される。活動については会則にもあるとおり主目的は親睦であり、ゴルフ大会、麻雀大会、ピクニック、その他専門家による講演会等が計画、実行されている。これら会員の親睦活動のほか同会独自で子供達のための日本語教室を開設、運営し会員より好評を博している。

(4) 日語教室について

同会実施事業のひとつとして日語子供教室がある。日語子供教室が開設されたのが1985年4月で、調査時点で9ヶ月を経過していたが当教室の登録者数は38名であり、そのうち現在通学児童数は36名である。同会には日本人男性と現地フィリピン女性と結婚したカップルとその逆のケースのカップルが会員として加入していることは前にも述べた通りであるが、これらカップルには2世となる子供達がいる。

マニラ市には進出企業の日本人会で経営している日本人子弟のための「マニラ日本語学校」が設置されているが、同校は日本の教育カリキュラムにそった教育を実施しており、帰国子女が日本の学校に適応出来るような授業内容であるため、現地に定住している上記のような2世には適当でないこと、又これら家族の家庭内での会話はフィリピン国の現地語であるため、マニラ日本語学校に通学するには日本語力が不足していることもあり、現地学校教育制度による教育を全員が受けている。

この様な現況下で最近家族内の会話不足が問題となっており、その対策のひとつとして子供達の日本語教育実施の必要性がいわれ、同会では日本語教室を実施するに至った。同会日本語教室の開設場所はマニラ市郊外にある会員の施設を無料で借用し、毎週土曜日午後一回の授業を実施しているが、場所が郊外であるため通学の際父兄の協力が必要であり、この点が問題とのことで、今後の対策として教室の場所の変更あるいは同会独自のスクールバス運行が検討されている。

現在同会の日本語教室に通学している36名の児童は3～10才の子供で構成されており日本人会員が主体であるが最近ではフィリピン人の子弟も同教室に通いはじめている。当初は日本語で遊び会ということで歌から日本語を始めたが、現在は紙芝居、絵本等も利用しながら日本の幼稚園教育程度の簡単な日本語を子供達に教えている。家庭内での日本語使用頻度からすると現在の指導方法は子供達にとって最良の方法であると思われるし、現に効果も上っているとのことであった。

指導にあたっている先生は現在フィリピンカトリック教会に日本からボランティア活動で派遣されている星野久美子さんとフリーのボランティアとしてフィリピンに渡航している山本雅子さんの二人である。星野さんは聖露加病院付属看護学校を卒業した看護婦さん、山本さんは宇部短大幼児教育学科を卒業し、幼稚園に3年間勤務した方でこの2人が中心となり教材が何もない現地で紙芝居等を手仕事で作成し使用している。紙芝居の材料となる紙も現地では高価であるうえ入手が困難なため日本から使用済みのカレンダーを送付してもらいその裏面を利用し、紙芝居を手書で作成する等本当に苦勞されているのがよく理解された。出来上がった紙芝居も非常に立派なものであった。又他の教材も関係者であるカトリック教会の協力により、コピー等を利用し日本語文字教材を作成する等何もないと

ところで会員の協力によって運営されている。

現在2人の先生で2クラスに分かれ授業が進められているが、同教室運営のための父兄負担となる授業料月額は

通学児童1家族1人の場合	200ペソ
” 2人 ”	300ペソ
” 3人 ”	400ペソ

となっており、当授業料をもって教師謝金として交通費程度の額を支給するとともに教材費を支出しているが、ボランティアの先生方が居なければ成立しないことである。

現在、日本語教室はカトリック教会のボランティア活動者2名の協力で運営されているが、これら協力者が日本へ帰国すると閉鎖を余儀なくされる状況にある。子供達に対する日本語教育を通じ日本人としてのアイデンティティを子供達にもたせる目的で行なわれている当教室が閉鎖されると、その影響は大きいものがあるという副会長の言葉があった。

今後の対策、要望として現在「マニラ日本人会」が運営している「日本人学校」の中に一部同会会員のような定住者の子弟を対象とした特殊学級を設置し日本語教育が継続されたらというような構想もあり、この実現につき会の幹部が努力しているとのことである。

(5) マニラ会の要望事項について

① 事務所借上について

同会事務所の現状は先にも述べた通り、現在同会の総務担当役員の個人の営業用事務所を無料で会事務所として利用しているもので、同事務所はホテル内の一室を借用したものであり、会独自の事務所として利用する訳にはいかないこともあって、会員が気楽に利用出来ない不便さがある。

会員の利用を考えると独立した一軒家の事務所の建設が望ましいが、現在の会運営上からは建築費及び運営費の捻出に問題があって不可能であり、現状では借上げ事務所であっても独自の事務所をもちたいとのことであった。

事務所借上げにしてもマニラ市においては月額20000ペソ（円換算で約200,000円）の経費を必要とすることから、現会費では負担に耐えられない事、又会費を上げる事についても問題があり当該経費の補助をして欲しいとの要望があった。

② 日語教師用指導教材の補助について

日語教育の実施現況についても先に記述した通りであり、現在、手作り教材により2人の先生が日本の幼稚園で実施している様な内容の日本語指導が行なわれ効果を上げている。先生の悩みとして、今後、更に進めた日語教育の実施を考えているが、現在の二人の先生は日本語教育の専門家でないため、指導方法を暗中模索しなければならないとの事であった。

そのため、小学校低学年用の教師用指導教材及び子供達の教材の補助の要望がなされた。

③ 邦字日刊紙発行のための機材補助

戦前マニラ市には日比新聞が発行されフィリピン国内在住の日系人の為の広報紙として日系人間の交流に大いに役立ったとのことであり、現在のフィリピン国内には多くの日本人が在住しているにもかかわらず邦字新聞がない。

そのため、今後、フィリピン国内各地に分散定住している日本人の交流を図るためにも邦字新聞発行が最良の策との考えから、この新聞発行のため、最新技術を誇る日本より補助を要望している。

4. フィリピン沖縄県人会（マニラ市）

沖縄県人会の会員は、戦後、アメリカ統治下の沖縄に米軍基地軍属として勤務していたフィリピン人と国際結婚してフィリピンに渡航し、現在当地に在住する日本人の婦人達を中心となっている。現在これらの婦人を中心とする沖縄出身者、そしてその子弟約500名及び沖縄からフィリピンに留学している日本人青年若干名を会員（V資料1参照）としている。同会によれば、現在会員となっているのは、全沖縄出身者の1/3のみであり、フィリピンには他にも多数の沖縄出身者とその子弟（戦前には沖縄出身移住者が多かった）が居ると推定される由。又、会員の職業は、1世では、観光業に就く者が圧倒的に多いが、2世は、大学へ進む者も多く、銀行員や教師になっている者も多いとのことであった。会の規約（V資料1参照）によれば、本会の目的は、フィリピンに在住する沖縄県人相互の親睦と福利厚生を計りフィリピン・沖縄間の文化及び教育を主体とした国際交流を主体として、両国間の相互理解を深めることである。事務所は、マニラ市（Room 306, Amparo Building, 950 United Nations Avenue, Ermita, Manila）に置かれており、民間のアパートの一室を借上げて使用している。会員が支払うべき会費は、会員の収入に応じ段階が設定されており、それぞれ月に20ペソ（1ペソ=約10円）、10ペソ、及び会費免除が適用されるが、実際には会の運営費は役員の個人的寄付に頼る部分が多いと聞いた。本会の組織は、会長1名、副会長4名、理事若干名、事務局長1名等から成る。また、本会の内部組織として2世会がある（本会の組織については、V資料1を参照）。

本会の年間行事は、1月に総会（新年会を兼ねる）、4月にビーチパーティー、10月に運動会、12月にクリスマスパーティを行う他、2世部は独自の親睦会を行っている。また、会員の間には子弟の日本語教育に熱心な者が多く、現在週1回（土曜日）、同会の事務所を利用して、子供コース、基礎コース1、同2及び中級コースの4コースを実施している。教師は、上述の沖縄出身の留学生在が交替で教えており、現在の生徒数は、36名である。テ

キストについては、沖縄県より寄贈された教材、大使館広報センターで使用する教材を利用している。二世の子供達は、対日感情の悪い時に育ったこともあり、日本語ができない者が多いので、よく、沖縄出身の南米在住者の子弟である2、3世と比較して日本語能力の低さを指摘されると同会幹部の1人は話していた。また1世の親達は子供達が日本の良いところを吸収し、立派な日系人に育ってフィリピンの発展に貢献して欲しいとの希望を有する者が多く、そのために日本語教育に熱心な者が多いとの説明があった。教師として活躍する留学生からは、自分達は日本語教育のプロではないので、特に日本語の教授法について知識がなく、現在試行錯誤でやっているが、教師用マニュアル等があれば援助して欲しいとの要望が出された。

以上の諸活動に加え同会では、「沖縄県人会報」という機関紙を毎月1回発行している（V資料1参照）。

同会幹部や会員からは調査団に対し以下の要望があった（V資料3参照）。

(1) 事務所の借上げ

現在借りている事務所は15m²のスペースしかなく手狭であること、及び他の団体と共同の親子電話が設置されているが、電話がいつでも使えるわけではなく不便であるので、せめて、電話付でかつ日本語教室が実施可能な広いスペースを有する事務所の借上げ補助を希望

(2) 子弟の日本語教育関係

- ① 日本語教室用ビデオ装置一式等教材の供与
- ② 教師用指導マニュアルの供与

(3) 子弟の訪日研修関係（2世用プログラム）

- ① 学位取得のための研修
- ② 技術研修
- ③ 日本でのホームステイ（日本文化の学習のため）

(4) その他

- ① 事務所用事務機器（ワープロ）供与
- ② 子弟の日本での就職
- ③ 2世の日本国籍取得手続の簡素化
- ④ 2世に対する観光ビザ延長に係る経費の免除

（なお、上記②、③、④については、調査に同行された大使館領事より適宜回答していただいた。）

V 資 料

1. 各日系人団体別定款及びメンバーリスト等収集資料

(1) フィリピン日系人会

① 「フィリピン日系人会」定款

ARTICLES OF INCORPORATION
OF THE
PHILIPPINE NIKKEL-JIN KAI, INC.

KNOW ALL MEN BY THESE PRESENTS:

That we, all of legal ages, Filipinos and residents of the Philippines have this day voluntarily associated ourselves together for the purpose of forming a non-stock and non-profit corporation under the laws of the Phils.

AND WE HEREBY CERTIFY -

FIRST. - That the name of the said corporation shall be PHILIPPINE NIKKEL-JIN KAI, INC.

SECOND. - That the purposes for which this corporation is formed are as follows:

1. To promote, foster and encourage mutual help, cooperation and harmonious relationship and better understanding among members all of whom descended from Japanese ancestors and between the members and the public in general;

2. To formulate, promote, carry on, encourage and finance plans, programs, activities, measures and projects designed to improve the educational, cultural, social and economic background of members and the public in general to bring about peace, prosperity and happiness.

And in furtherance of the foregoing:

A. To acquire, purchase, own hold, operate, develop, lease, mortgage, pledge, exchange, sell, transfer, or otherwise, in any manner permitted by law, real and personal property of every kind and description or any interest therein as may be necessary for or conducive to the carrying out of its purposes.

B. To raise money for any of the purposes of the corporation and from time to time, without limit as to amount, to draw, make, accept, endorse, guarantee, execute and issue promissory notes, drafts, bills of exchange, warrants and other negotiable or non-negotiable instruments and evidences of indebtedness, and to secure payment thereof and of the interest thereon by mortgage or on pledge, conveyance or assignment, in trust of, the whole or any part of the assets of the corporation, real, personal or mixed including rights, whether at the time owned or thereafter acquired, and to sell, pledge, or otherwise dispose of such securities or other obligations of the corporation for its corporate purposes;

C. To invest the funds of the corporation, provided, that the net profits derived from said undertaking shall not inure to any of the directors, officers or members or any members or any private individual but shall be exclusively for the maintenance and carrying out of the purposes of the corporation;

D. As may be necessary or proper to carry out and in connection with its purposes, to make any guaranty respecting securities, indebtedness, interest, contracts or other obligations so far as the same may be permitted to be done under the laws of the Republic of the Philippines;

E. In general, to carry on any activity and to have and exercise all of the powers expressly conferred by the Corporation Law and other laws of the Republic of the Philippines or reasonably necessary or proper for or incidental to the realization of the purposes of the incorporation.

THIRD. - That the place where the principal office of the corporation is to be established or located in Davao City, Philippines;

FOURTH. - That the term for which said corporation is to exist is fifty years from and after the date of incorporation;

FIFTH. - That the names, nationalities and residences of the said incorporators of said corporation are as follows:

SIXTH. - That the number of directors of said corporation shall be eleven and that the names and residences of the directors of the corporation who are to serve until their successors are elected and qualified as may be provided in the by-laws are as follows;

SEVENTH. - That the said corporation shall have no shares of stock and shall operate as a non-profit membership organization and any and all moneys and assets thereof shall be devoted exclusively for the furtherance of its activities and no dividend shall be declared and no profit shall accrue to the individual members thereof:

EIGHT. - That the sources of money to be devoted to the maintenance of the corporation are such fees, monthly dues, voluntary contributions, bequests or donations of personal or real properties which the corporation may receive;

NINTH. - That the present members of said corporation are those whose names appear in the attached list as Annex A hereof, which include the herein incorporators. However, additional members may be admitted to the corporation in accordance with the provisions of the by-laws, the list of which shall be submitted to the Securities and Exchange Commission from time to time;

TENTH. - That REBECCA T. MATUTE has been elected by the incorporators as Treasurer of the Corporation to act as such until her successor is duly elected and qualified in accordance with the by-laws and that such Treasurer she has been authorized to receive all fees, contributions or endowments from the members only given to, received by and appertaining to the said corporation.

IN WITNESS WHEREOF, we have hereunto affixed our signatures this 6th day of May 1980 at Davao City, Philippines.

BY LAWS OF THE PHILIPPINE NIKKEY-JIN KAI INC.

ARTICLE I

OFFICE

Sec. 1. The principal office of the corporation shall be located in the City of Davao, Philippines, Branch offices may be established at such places in the Philippines as the Board may fix from time to time.

ARTICLE II

MEMBERSHIP

Sec. 1. Any Filipino citizen who is a descendant of a Japanese citizen, of legal age, is of good moral character and who subscribe to the purposes and objectives of the corporation is eligible for membership in the corporation. The legal spouse of a member may be admitted as a member of the corporation.

Sec. 2. Any qualified person who desires to join the corporation must file an application for membership which must be approved by the Board of Directors. Every application for membership only approved shall be properly kept on file.

Sec. 3. Members are expected to pay membership dues and other fees as may be fixed by the Board of Directors from time to time.

Sec. 4. Members who fail to keep up their membership dues shall lose their eligibility as members of the corporation.

ARTICLE III

MEETING OF MEMBERS

Sec. 1. All eligible members have the right to vote at membership meetings.

Sec. 2. The annual meeting of the members of the corporation shall be held every second Sunday of May of each year at the principal office of the corporation or at such other place in the City of Davao as shall be designated by the President and specified in the notice of meeting. Written notice of the annual meeting of the members shall be sent to each registered member at least ten (10) days prior to the date of such meeting. Waiver of notice may only be made in writing.

Sec. 3. Special meetings of the members called by the Board of Directors or by the President or upon the written request of at least twenty (20) eligible members. A written notice stating the day, hour and place of meeting and general nature of the business to be transacted shall be sent to each member at least five days before the date of such special meeting, provided that this requisite may be waived in writing by the member.

Sec. 4. Majority of the members present in person or represented by proxy/ who are entitled to vote shall constitute a quorum at any annual or special membership meeting and the vote of at least the majority of the quorum shall be necessary for a corporate transaction, except in those cases where the Corporation Law of the Philippines requires the affirmative vote of a greater proportion.

Sec. 5. An eligible member may designate in writing a proxy in membership meetings. Immediately prior to the beginning of proceedings of any meeting whether annual or special, the proxy in writing shall be admitted to the Secretary for examination. The President shall pass upon the validity of the proxy and in case of protest against the proxy, the admission or rejection of the same shall be determined by the Board of Directors whose decision shall be final.

Sec. 6. The order of business of the annual meeting of the members shall be as follows:

- a. Proof of the required notice of the meeting;
- b. Proof of the presence of a quorum
- c. Reading of the minutes of the previous meeting;
- d. Report of the President;
- e. Unfinished Business;
- f. New Business;
- g. Election of Directors

The above order of business may be changed by a vote of a majority of the members entitled to vote at such meeting.

Sec. 7. In the case of a special meeting of the members, the order of business shall be substantially the same as that of the stated above, except that only those matters specified in the notice of the meeting shall be taken for discussion.

Sec. 8. Minutes of all meetings of the members shall be kept and carefully preserved as a record of the business transacted at such meeting. The minutes of the meeting shall contain such entries as may be required by LAW.

ARTICLE IV

TERRITORIAL SCOPE

Sec. 1. The jurisdictional area of the corporation embraces the entire Philippines. This area shall be divided into geographical districts or units whereby chapter organizations or branches will be formed.

Sec. 2. Each chapter or branch as created by the Board of Directors shall be under the supervision and management of an executive district committee who shall be elected by the members within the district of such number of members as shall be decided by the Board of Directors. The executive district committee who together with the Chairman of the Board and the President of the Corporation as ex-officio members shall elect its chairman.

ARTICLE V

THE BOARD OF DIRECTORS

Sec. 1. The general management of the corporation shall be vested in a board of eleven (11) directors who must be eligible members and who receives the first eleven (11) highest number of votes in the election of directors at the annual meeting of the members of the corporation, each of whom shall serve for a term of one year and until his successor shall have been duly elected and qualified. Any vacancy in the Board of Directors shall be filled by a majority vote of the remaining directors, if still constituting a quorum, until the next meeting of the members. The director as chosen shall serve for the unexpired term until a successor shall have been elected at a membership meeting. The Board of Directors shall elect from among themselves a chairman of the board who shall preside at all meetings of the Board. of Directors.

Sec. 2. The directors shall act only as a Board and the individual director shall have no power as such. A majority of the director shall be necessary at all meetings to constitute a quorum for the transaction of any business, and every decision of the majority of the quorum duly assembled shall be valid as a corporate act.

Sec. 3. The Board of Directors shall hold a meeting for organization immediately after its election, of which no written notice shall be required. Thereafter, the Board of Directors shall hold regular meetings once a month which shall be on the second Sunday of each month. Attendance at such meeting shall be in person. Proxy representation shall not be allowed. Special meeting of the Board of Directors may be called upon by the President at his discretion or at the written request of four (4) directors and as often as the exigencies of the business so requires.

Sec. 4. The Board of Directors shall adopt such rules and regulations as may be necessary for the proper conduct of its meetings not inconsistent with law or the provision of this by-laws. At the meeting of the Board, business shall be transacted in the order prescribed by the Board and in the absence thereof the President shall preside the order of business.

Sec. 5. The Board of Directors shall exercise complete control and supervision of the management, business activities, properties, and general affairs of the corporation, shall define the policies to be adopted in connection therewith, and shall adopt all such rules and regulations not inconsistent with law and the provisions of this by-laws as shall be necessary for the proper and efficient administration of the business and affairs of the corporation.

Sec. 6. The members of the Board of Directors shall not receive any fixed salary or compensation for their services, but may receive per diems and allowances for attendance at each meeting of the board as may be fixed by the members.

Sec. 7. Minutes of all meetings of the Board of Directors shall be kept and carefully preserved as a record of the business transacted at each meeting. The minutes shall contain such entries as may be required by law.

ARTICLE VI

THE EXECUTIVE COMMITTEE

- Sec. 1. The Board of Directors shall elect not less than three directors who, together with the Chairman of the Board and the President as ex-officio members, shall constitute the Executive Committee. The Executive Committee shall elect its chairman. Each member of the Executive Committee shall hold office until the first meeting of the Board of Directors elected at the annual meeting of the members must following his election, and until his successor is elected and qualified, or until his resignation or removal, or until he ceases to be a director. The Board of Directors shall have power to remove any member of the Executive Committee with or without cause. Vacancies in the Executive Committee shall be filled by the Board of Directors from among the members of the Board, but during the temporary absence of a member of the Executive Committee the remaining members may appoint a member of the Board of Directors to act in his place.
- Sec. 2. Except as otherwise provided by law, during the intervals between meetings of the Board of Directors, the Executive Committee may exercise all the powers of the Board of Directors in the management of the business and affairs of the corporation, provided, however, that any and all acts of the Executive Committee in its exercise of the powers hereby granted shall be reported to the Board of Directors at its meeting for ratification or such other action as it may deem proper.
- Sec. 3. Regular meetings of the Executive Committee may be held without call or notice at such times and places as the Executive Committee may from time to time fix. The Executive Committee may also hold special meetings on call of the Chairman of the Board, or the President, or the Chairman of the Executive Committee. Notice of special meeting, stating the hour, day and place thereof, shall be served personally on each member of the Executive Committee, or mailed, telegraphed or telephoned to his address on record in the book of the corporation, at least twenty-four hours before the meeting. No notice of the time or place of any meeting of the Executive Committee need be given to any member thereof who attends in person or who, in writing executed and filled with the records of the meeting either before or after the holding thereof, waive such notice. No notice need be given on an adjourned meeting on the Executive Committee. Meetings of the Executive Committee may be held at such place or places within or outside the city where the principal place of business of the corporation is established, and as the Executive Committee shall determine, or as may be specified or fixed in the respective notices or waiver thereof. The Executive Committee may fix its own rules or procedures. It shall keep a record of its proceedings and shall report these proceedings to the Board of Directors at the meeting of the Board held next after they shall have been taken.
- Sec. 4. A majority of the members of the Executive Committee shall constitute a quorum for the transaction of business at every meeting thereof. If at any meeting there shall be less than a quorum present, the members present at the meeting, by a majority vote and without notice other than by announcement at the meeting may adjourn the meeting from time to time, but not for a period of over ten days at any one time, until a quorum shall attend. A majority of each quorum may decide any question that may come before the meeting.

Sec. 5. Any member of the Executive Committee may resign from the Executive Committee at any time by giving written notice thereof to the President or the Secretary of the corporation. Such resignation shall take effect at the time specified therein, and, unless otherwise specified therein, the acceptance of such resignation shall not be necessary to make it effective.

ARTICLE VII

OFFICERS

Sec. 1. The officers of the corporation shall consist of the following:

- a. Chairman of the Board of Directors
- b. President
- c. First Vice-President
- d. Second Vice-President
- e. Secretary
- f. Treasurer
- g. Asst. Treasurer
- h. Auditor
- i. Press Relation Officer

who shall all be elected by the Board of Directors for a term of one year and shall hold office until their successor shall have been duly elected and qualified. The members of the Board, after their election at the annual meeting of the members, shall immediately hold a meeting to organize themselves and elect the officers of the corporation; provided, however, that in case of the absence of one or more of the elected directors, for being absent at the meeting at the time of his election, the new Board of Directors shall not hold the meeting to elect the officers until ample time has been given to the absent Director or Directors to be present at such meeting. The duties of two or more of the above officers may be performed or vested in the same person whenever deemed convenient or expedient and when not incompatible with each other.

Sec. 2. Other officers of the corporation may be also appointed by the Board of Directors for such position and with such rank, tenure, authority and responsibility as it shall from time to time prescribe.

Sec. 3. The Chairman of the Board of Directors shall preside at all meetings of the members or the Board of Directors, and of the Executive Committee. He shall be a member ex-officio of all standing and special committee of the Board of Directors, may create and perform such other duties as the Board of Directors may from time to time prescribe. Except where the signature of the President is required by law, the Chairman shall possess the same powers as the President to sign all contract and other instruments of the corporation which may be authorized by the Board of Directors.

Sec. 4. The President, who shall be elected from among the members of the Board, shall have the following powers and duties:

- (a) to preside over all meetings of the members of the Board of Directors, and of the Executive Committee, unless the Chairman of the Board elect to do so;
- (b) to call special meetings of the members of the Board of Directors;

and of the Executive Committee;

- (c) to a member ex-officio of all committees
- (d) to exercise general supervision over the management and the affairs of the corporation subject to the control of the Board
- (e) to sign all membership certificate, contracts, and such other documents and instruments of the corporation as relate to any matter usually signed by the executive of an organization
- (f) to submit an annual report of the business and financial condition of the corporation at the annual meeting of the members, as well as such other reports and as may be required on him by the Board of Directors and
- (g) to exercise such powers and perform generally all other duties and functions as may be prescribed by the Board of Directors or as are usually exercised and performed by the executive of an organization.

Sec. 5. The First Vice-President if qualified may act as President and exercise and perform the powers and duties of the President during his absence, sickness, or disability; provided, however, that in case of the death, resignation, or permanent disability of the President, the Board of Directors may elect such First Vice-President or any member of the Board of Directors to become President during the unexpired term of the vacancy. The Board of Directors may prescribe such regular or special duties and functions to the First Vice-President as it may deem necessary.

Sec. 6. The Second Vice-President may act as First Vice-President and exercise and perform the powers and duties of the First Vice-President during his absence, sickness, or disability; provided, however that in case of death, resignation, or permanent disability of the First Vice-President, the Board of Directors may elect such Second Vice-President or any member of the Board of Directors to become the Second Vice-President during the unexpired terms of the vacancy. The Board of Directors may prescribe such regular or special duties and functions of the Second Vice-President as it may deem necessary.

Sec. 7. The Secretary, who shall be a citizen and resident of the Philippines, shall keep a record of all proceedings of the meeting of the members and of the Board of Directors, and shall take charge of the books and records of the corporation. He shall sign all membership certificates together with the President, or with the First Vice-President who is acting as President, and also sign all such other papers, documents, or instruments pertaining to the corporation as are usually countersigned or signed by the Secretary of an organization. He shall issue all notices of meetings of members, of the Board of Directors and of the Executive Committee. He shall in general perform all such other duties as are incident to his office as Secretary.

Sec. 8. The Treasurer shall have custody of all funds, properties, and securities belonging to the corporation, and shall keep a full and complete record of all receipts and disbursements of the corporation.

The Treasurer shall deposit/and withdraw together with the President or Vice-President the funds of the corporation in the commercial bank or banks which the Board of Directors designated, open accounts with such such bank or banks for the corporation, as well as endorse checks and other negotiable instruments of the corporation to be presented to the bank or banks for deposit or collection; provide, however, that in the drawing or issuance of checks and withdrawal of deposits of the corporation, such checks and withdrawal slips shall be signed by the Treasurer with the President or by the First Vice-

President in the absence of the President. Whenever required by the Board of Directors and at the end of every fiscal period, the Treasurer shall render a report of the financial standing of the corporation. The Treasurer shall post a bond in such amount as may be fixed by the board.

The Treasurer shall perform such other duties and functions as may be required by the Board of Directors, or by the President, and as may be required by law.

Sec. 9. The Assistant Treasurer shall assist the Treasurer in the performance of the duties and functions of the Treasurer, and shall exercise and perform the powers and duties of the Treasurer during the absence, sickness, disability or death of the Treasurer. The Board of Directors may prescribe such regular and special duties and functions of the Assistant Treasurer as it may deem necessary.

Sec. 10. The Auditor shall conduct regular and special audits of the books of accounts and assets of the corporation as may be prescribed by the Board of Directors. All records, reports and statements required to be submitted by the Treasurer shall be examined and verified by the Auditor.

Sec. 11. The Press Relation Officer shall undertake measures and means to develop a favorable public image for the corporation, attract eligible non-members to be members and enhance the prestige and growth of the corporation.

Sec. 12. If any office of the officers of the corporation becomes vacant by death, resignation or otherwise the remaining directors if still constituting a quorum by a majority vote may choose a successor who shall hold office for the unexpired term.

Sec. 13. In case of the temporary absence of any officer of the corporation, or for any other reason that the Board of Directors may deem efficient, the Board of Directors may delegate the powers and duties of such officer to any other officer or to any Director for the time being, provided a majority of the Board concurs therein and such delegation is not covered by any express provision of this by-laws.

ARTICLE VIII

COMMITTEE

Sec. 1. The Board of Directors may create such standing and special committees with delineated purposes and functions in such member or members as it may deem necessary and proper to achieve the purposes and objectives of the corporation; provided that the Chairman of the Board of Directors and the President shall be members ex-officio of such committees.

Sec. 2. The Board of Directors may remove any member of any committee at any time for any reason as it may deem sufficient.

Sec. 3. Each Committee shall keep a record of its meetings and activities and deposit the same with the Secretary.

ARTICLE IX

INSPECTION OF BOOKS OF ACCOUNTS

Sec. 1. The books of accounts and records of the corporation shall during the business hours, be open to the inspection of any of the Board of Directors or any officers or any of the members of record of the corporation at any reasonable time during office hours.

ARTICLE X

FISCAL YEAR

Sec. 1. The fiscal year of the corporation shall follow the calendar year.

ARTICLE XI

CORPORATE SEAL

Sec. 1. The corporate seal of the corporation shall be as designed and prescribed by the Board of Directors.

ARTICLE XII

AMENDMENTS

Sec. 1. This by-laws may be amended, revised or replaced by the vote of at least a majority of the members of the corporation in a meeting called for such purpose. However, this power may be delegated to the Board of Directors by at least two-thirds vote of the members of the corporation entitled to vote and may be revoked by the vote of at least majority of the members of the corporation entitled to vote.

② 「フィリピン日系人会」メンバーリスト



Philippine Nikkei-Jin Kai, Inc.

115 Ma-a Road, DBP Village, Matina
Davao City, Philippines 9501

OFFICERS FOR 1985 - 86

President	- Mr. Arturo Hagie
Chairman	- Rev. Bernardo N. Fernandez, Sr.
First Vice-President	- Mr. Romualdo S. Limsiace
Second Vice-President	- Mr. Felicitimo Kodama Melode
Secretary	- Mrs. Teresita M. Villas
Treasurer	- Mr. Manuel S. Navarro
Asst. Treasurer	- Mrs. Isabelita G. Jao
Auditor	- Mr. Vicente Mori
Public Relation Officer	- Mr. Antonio Nakano
Director	- Mr. Ramon Otte Watanabe
Director	- Mr. Isae Elio Seteguohi

The following pages contain the list of members by Chapters



Philippine Nikkei-Jin Kai, Inc.

115 Ma-a Road, DBP Village, Matina
Davao City, Philippines 9501

TORIL CHAPTER Toril, Davao City

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. Catalan Anao | 31. Atosi Sugayo |
| 2. Miguel Mariano Henda | 32. Marie Suganob |
| 3. Sebastian Suazo | 33. Vicente Agari |
| 4. Magdalena Bulfa | 34. Nera Villamer |
| 5. Paul Denia | 35. Artemio Suganob |
| 6. Dorothy Gigi Denia | 36. Macario Suganob |
| 7. Antonio Nakano | 37. Elena Kuay Anao |
| 8. Florenda Anao | 38. Prescilla Lim |
| 9. Sesia Anao | 39. Lorena Anao |
| 10. Juana Nakano | 40. Marcela Kuay |
| 11. Raul Nakano | 41. Thelma Kuay |
| 12. Annabelle Nakano | 42. Restituta Bulfa |
| 13. Edgardo Bulfa | 43. Reynalde Bulfa |
| 14. Basilisa Bulfa | 44. Divina Bulfa |
| 15. Wilfredo Bulfa | 45. Gabriel Aquio |
| 16. Alberto Bulfa | 46. Epaprodite Anao |
| 17. Delia Armas | 47. Sedice Molong |
| 18. Aurelia Fan | 48. Lourdes Undang |
| 19. Margarita Vigilancia | 49. Abel Undang |
| 20. Florita Mariane | 50. Virgilio Lauze |
| 21. Miguel Mariano, Jr. | 51. Gina Lauze |
| 22. Trinidad Bio | 52. Ressen Alcorde |
| 23. Wilma Bio | 53. Estrella Ferrer |
| 24. Julia Suganob | 54. Demetrio Kinase |
| 25. Antonie Suganob | 55. Bernaigilde Kinase |
| 26. Jovita Emase | 56. Juliote Kinase |
| 27. Arlene Aquio | 57. Merlyn Tagala |
| 28. Mariano Cawayan | 58. Ismunda Millota |
| 29. Gloria Alcorde | 59. Domingo Kinase |

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 61. Delores Kinase | 91. Lisa Ito |
| 62. Pedro Quisaco | 92. Danila Miolata |
| 63. Aquilles Molong | 93. Jovita Pulvera |
| 64. Lerna Bioug | 94. Jaime Miolata |
| 65. Narcisa Chavez | 95. Rebecca Banga |
| 66. Maritess Chavez | 96. Carlos Miolata |
| 67. Aida Chavez | 97. Juanita Miolata |
| 68. Antonio Lanza | 98. Teresita Sitey |
| 69. Alicia Villaruz | 99. Romeo Sitey |
| 70. Annalie Alcorde | 100. Estanislao Sitey |
| 71. Arnold Emase | 101. Marilyn Pulvera |
| 72. Narciso Sinabue | 102. Editha Emase |
| 73. Trinidad Pelpenosa | 103. Edgardo Resquito |
| 74. Renee Darwin | 104. Alberto Rosquita |
| 75. June Darwin | 105. Darlene Nakano |
| 76. Julia Marimatse | 106. Cristina Tokenaga |
| 77. Aurora Resquita | 107. Raquel Villaruz |
| 78. Nicamar Resquita | 108. Cristina Villaruz |
| 79. Lorense Resquita | 109. Lilia Miolata |
| 80. Elva Kuay | 110. Trinidad Quisaco |
| 81. Josie Resquita | 111. Benedicto Lanza |
| 82. Danny Lanza | 112. Gregorio Lanza |
| 83. Ramon Villaruz | 113. Fenciano Kinase |
| 84. Esperanza Marimatse | 114. Romegio Kinase |
| 85. Meracil Kawayan | 115. Marcel Pana Guaso |
| 86. Marcelina Balasabas | 116. Rachel Darwin |
| 87. Elena Solidaga | 117. Dionesio Anas |
| 88. Martinita Blance | 118. Teresita Lanza |
| 89. Cernelia Teves | 119. Larry Lanza |
| 90. Pedro Ito | 120. Landa Sandoy |

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 121. Florencia Agari | 154. Vicente Agari, Jr. |
| 122. Pádra Bulfa | 155. Victor Agari |
| 123. Rebecca Bulfa | 156. Marilyn Agari |
| 124. Valentia Aranas, Jr. | 157. Clemente Nakano |
| 125. Corazon Sto. Domingo | 158. Diegracias Kuay |
| 126. Joel Batawan | 159. Crisostomo Kuay |
| 127. Flora Batawan | 160. Melvin Kuay |
| 128. Arsenia Agari | 161. Josephine Tungcaling |
| 129. Marieta Agari | 162. Marileu Mariano |
| 130. Teofila Ariosa | 163. Mary Tungcaling |
| 131. Lucena Saberon | 164. Lito Mariano |
| 132. Fe Luz Antequia | 165. Junior Mariano |
| 133. Jossel Orbin | 166. Elvin Amac |
| 134. Susan Teves | 167. Trinidad Bio |
| 135. Maximiana Orbin | 168. Ramona Tungcaling |
| 136. Renato Sakai | 169. Juanita Lance |
| 137. Lorna Sakai | 170. Marivic Agari |
| 138. Nester Sakai | 171. Cristina Sellen |
| 139. Manuele Banquil | 172. Lourdes Sellen |
| 140. Resita Banquil | 173. Mary Ann Sellen |
| 141. Genchita Mariano | 174. Arlene Sellen |
| 142. Vicenta Mariano | 175. Joel Sellen |
| 143. Tessie Celestra | 176. Rosalie Sellen |
| 144. Resenia Cawayan | 177. Conie Grace Oyo |
| 145. Hermegenes Mariano | 178. Dionisia Oyo |
| 146. Renato Mariano | 179. Francisca Tokomaga |
| 147. Minda Mariano | 180. Vibenta Emaac |
| 148. Juanite Mariano | 181. Josephine Emaac |
| 149. Rosita Mariano | 182. Rosalie Emaac |
| 150. Diosdado Mariano | 183. Esteban Pan |
| 151. Eding Mariano | 184. Conrado Ferrer |
| 152. Manuele Cawayan | 185. Junie Vigilancia |

DAVAO CITY POPULATION CHAPTER

1. G्रेसencia Alburo
2. Leonora Alburo
3. Emma Alburo
4. Matilde Aloano
5. Danilo Aloano
6. Teddy Balansag
7. Rosa Barbara
8. Jocelyn Babus
9. Sandy Castillo
10. Carmen Castillo
11. Zenaida Castillo
12. Roberto Castillo
13. Julio Castillo
14. Zenaida de los Reyes
15. Rodolfo de los Reyes
16. Gorgonio Danus
17. Alfonia Danus
18. Pedro Danus, Jr.
19. Segundina Endaya
20. Mauro Endaya
21. Valentina Endaya
22. Antonio Flores
23. Idefonso Faustino
24. Bernardo Fernandez, Sr.
25. Arthur Fernandez
26. Alejandro Fernandez
27. Jocelyn Fernandez
28. Injelyn Fernandez
29. Bernardo Fernandez, Jr.
30. Evangelina Fernandez
31. Gonsesus Fernandez
32. Melchor Gumapac
34. Lourdes Go
35. Nelson Go
36. Susan Go
37. Arturo Magio
38. Jessica Joaquin
39. Cristino Joaquin
40. Ligaya Joaquin
41. Epifanio Kintanar
42. Rogelio Kabashima
43. Romualdo Limsiaco
44. Edgar Leo Limsiaco
45. Mariza Limsiaco
46. Fe Veronica Risonar Limsiaco
47. Maribeth Limsiaco
48. Lilia Deleon Limsiaco
49. Pedro Limsiaco
50. Virgilio Limsiaco
51. Noel Limsiaco
52. Jose Limsiaco
53. Salvador Limsiaco Sr.
54. Pacifico Limsiaco
55. Salvador Limsiaco, Jr.
56. Pacifico Limsiaco, Jr.
57. Patrio Limsiaco
58. Eric Limsiaco
59. Ricardo Limsiaco, Sr.
60. Ricardo Limsiaco, Jr.
61. Anita Molong
62. Norma Manabap
63. Jaime Molong
64. Antonia Misobe
65. Manuel Navarro

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 67. Rolando Navarro | 101. Armando Makano |
| 68. Policarpio Obdenoia | 102. Rolando Dixon |
| 69. Maria Obdenoia | 103. Fijiyo Castillo |
| 70. Edgardo Olea | 104. Leonidas Elo |
| 71. Ellen Paman | 105. Isamu Mizobe |
| 72. Eliseo Robal | 106. Anita Molong |
| 73. Elina Ranque | 107. Rosita Ogawa |
| 74. Pumiko Remando | 108. Olympia Olea |
| 75. Maria Rabandon | 109. Rejie Rabadan |
| 76. Hilberto Ranque | 110. Fomiko Rimando |
| 77. Dorothea Ranque Jr. | 111. Todashi Taguchi |
| 78. Rosalinda Ranque | 112. Anacrita F. Ramiro |
| 79. Edgardo Ranque | 113. Jaime Iguiamon |
| 80. Marife Rimando | 114. Rebecca L. Colosas |
| 81. Daniel Umacob | 115. Hazel F. Dambong |
| 82. Aurelio Vergara, Jr. | 116. Menandro Dambong |
| 83. Ronald Villaruz | 117. Genchita Y. Ferona |
| 84. Cristina Villaruz | 118. Constanacio Faigan |
| 85. Raquel Villaruz | 119. Silvano Palma Gil, Jr. |
| 86. Tomomi Watanabe | 120. Erlinda B. Palma Gil |
| 87. Glororia Yamauchi | 121. Denaida delos Reyes |
| 88. Remedios Yamashita | 122. Rodolfo delos Reyes |
| 89. Kazuo Yamauchi | 123. Melchor Gumapas |
| 90. Norma Suan | 124. Fumiko Rimando |
| 91. Glimaco Santos | 125. Leonora Albete |
| 92. Jose Taguchi | 126. Honorato Parilla |
| 93. Teodoro Taguchi | |
| 94. Estifania Tajiri | |
| 95. Alex Tuda | |
| 96. Mary Ann Toshimatsu | |
| 97. Josephine Tan | |
| 98. Jun Jun Tan | |
| 99. Julie Tan | |
| 100. Johnny Tan | |

Sta. Cruz, Davao del Sur

1. Fernando O. Etil
2. Mercy O. Etil
3. Simplicio J. Suedo
4. Florencia J. Madera
5. Nicanor W. Otto
6. Melecio W. Otto
7. Rodolfo Fucoda Baltazar
8. Pelagia J. Diamona
9. Rosita M. Escobedo
10. Remedios O. Ong
11. Loida F. Torono
12. Rosario F. Baltazar
13. Alberto F. Baltazar
14. E. F. Baltazar
15. Gregoria F. Baltazar
16. Phoebe M. Dato
17. Mae O. Etil
18. Elizabeth O. Etil
19. Gina O. Etil
20. Sionie O. Etil
21. Josie O. Etil
22. Jelsie O. Etil
23. Aquilina M. Etil
24. Alona M. Apo
25. Jimmy O. Etil
26. Nathaniel M. Baron
27. Sonny O. Etil
28. Ubaldo O. Etil
29. Rodel O. Etil
30. Reco O. Etil
31. Alma O. Etil
32. Nida O. Etil
33. Primitiva O. Etil
34. Lauro Okamoto
35. Castillo Okamoto
36. Bernardina Baltazar
37. Desiderio Baltazar
38. Luz Baltazar
39. Estanislao Madera
40. Eddie Takamuri
41. Urbano Ote
42. Osiias Aguan
43. Julian W. Otto
44. Erlinda M. Elok
45. Carmencita Takamuri
46. Mario F. Baltazar
47. Abel M. Dato
48. Reynaldo J. Diamona
49. Petronilo M. Torono
50. Carlito Sumanil
51. Presoilla Sumanil
52. Angelito Takamuri
53. Sayguro Takamuri
54. Ronolo Sumanil
55. Arnulfo O. Etil
56. Noel M. Escobedo
57. Ceferina F. Baltazar
58. Aida Swemith
59. Elias M. Dato
60. Alfredo F. Baltazar
61. Ronie Okamoto
62. Jesery Aglang
63. Herminia J. Diamona
64. Justina F. Baltazar

65. Jesusimo M. Dato
66. Anselmo M. Dato
67. Susan M. Dato
68. Rogelio M. Dato
69. Alicia M. Dato
70. Candelario Diamona
71. Apolonio M. Dato
72. Isao S. Elio
73. Servado M. Dato
74. Jovita M. Dato
75. Adelaida S. Dato
76. Dexter M. Dato
77. Danilo M. Dato
78. Eugenio M. Dato
79. Genie M. Dato
80. Diosdado Mayola
81. Jose Esteban
82. Melecia M. Apo
83. Salvador M. Apo
84. Gabriel H. Apo
85. Lolita M. Decepreto
86. Helen O. Payen
87. Inocencia Aglang
88. Arturo S. Josko
89. Anita Apo Banal
90. Esther W. Otto
91. Ramon W. Otto
92. Pablo Etil
93. Porgerio Etil
94. Celso O. Etil
95. Rizalina Okamoto
96. Isidro Okamoto
97. Arlene S. Mayola
98. Lea M. Dato
100. Felomina F. Baltazar
101. Rosita Okamoto
102. Agustin F. Baltazar
103. Rosenia M. Dato
104. Joyda M. Dato
105. Angelina Baltazar
106. Elisiana S. Tenio
107. Alejo Oda
108. Dina Okamoto
109. Isabelita Lantayona
110. Jose Lantayona, Jr.
111. Lope Baltazar
112. Eleazar Etil
113. Jasper Etil
114. Ramona Basir
115. Aida Baltazar
116. Francisca Baltazar
117. Judy Baltazar
118. Edna Baltazar
119. Felisa Baltazar
120. Daisy Canada
121. Josephine Canada
122. Florita M. Lopez
123. Teofila Francisco
124. Ronie Francisco
125. Epifania Maghanoy
126. Mercedes Francisco
127. Erlinda Francisco
128. Antonio Francisco
129. Lito Suido Asko
130. Edmon Otto

GALINAN CHAPTER
Galinan, Davao City

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. Ramon Ampe | 31. Adelina Mangali |
| 2. Sueko Andawit | 32. Jovelyn Matsuo |
| 3. Marcelo Ando | 33. Arnold Melodi |
| 4. Adelina Apang | 34. Felicisimo Melodi |
| 5. Carmen Apigo | 35. Virgelio Melodi |
| 6. Aquino Attos | 36. Ireno Navoa |
| 7. Concepcion Bacus | 37. Lilia Palo |
| 8. Pedro Bacus | 38. Honorata Parilla |
| 9. Conchita Baysabal | 39. Mateu Parilla |
| 10. Jose Fey Bersabal | 40. Mamerta Poblete |
| 11. Susana Eulador | 41. Rosario Ponce |
| 12. Loreta Brillas | 42. Alicia Pondon |
| 13. Yaeko Cajos | 43. Yuriko Saberon |
| 14. Anita Calinas | 44. Protacia Sabio |
| 15. Roberto Castillo | 45. Virgelio Sabio |
| 16. Felicitana Carillo | 46. Carterio Sampiano |
| 17. Anita Carlos | 47. Policarpio Sampiano |
| 18. Dolores Codera | 48. Elena Saaybaguis |
| 19. Felipe Coluna | 49. Pablo Te |
| 20. Pablo Embang | 50. Alfredo Tutor |
| 21. Daniel Fernandez | 51. Arlene Tutor |
| 22. Julito Fujitake | 52. Rodolfo Tutor |
| 23. Yasuko Harada | 53. Victoria Tutor |
| 24. Erenia Ikdang | 54. Daniel Usacob |
| 25. Roque Ismael | 55. Estifania Usacob Sr. |
| 26. Joyce Nor Kagawa | 56. Daniel Yamaguchi |
| 27. Leonora Kagawa | 57. Manuel Yogi |
| 28. Hatsuko Lavisto | 58. Marcial Yoshida |
| 29. Dando Maiwa | 59. Yaeko Yoshida |
| 30. Jaime Manga | 60. Amonita Apang |

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 61. Hatsuko Yazima | 91. Constanca Artiga |
| 62. Isamu Kagawa | 92. Virginia Tosno |
| 63. Jaime Matsuo | |
| 64. Caesar Matsuo | |
| 65. Carolina Fernandez | |
| 66. Jovelyn Matsuo | |
| 67. Ashiro Matsuo | |
| 68. Jose Yawatake | |
| 69. Julieta Munar | |
| 70. Elena Traverso | |
| 71. Carolyn N. Traverso | |
| 72. Gilda Villareal | |
| 73. Cecilia Enoch | |
| 74. Rosita Hiquial | |
| 75. Virgilio Ponce | |
| 76. Sarah Villafuente | |
| 77. Kamoto Yamaguchi | |
| 78. Takoshi Hoing | |
| 79. Jose Ponpon | |
| 80. Tonie Ponpon | |
| 81. Fausto Pandiano | |
| 82. Honorio Dandian | |
| 83. Tomoko Pepe | |
| 84. Jolicia Lacinto | |
| 85. Alma Villareal | |
| 86. Catalina Villareal | |
| 87. Masako Villareal | |
| 88. Enriqueta Rabago | |
| 89. Tony Palaka | |
| 90. Victoria Revolla | |

DIGOS CHAPTER
Digos, Davao del Sur

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1. Belinda Alcasid | 31. Betty Ingoal |
| 2. Rowena Acoy | 32. Dolores Labid |
| 3. Carmelo Anta | 33. Teresita Llamas |
| 4. Nicasio Anta | 34. Karla Lalisan |
| 5. Conchita Basilan | 35. Rosalina Lasamo |
| 6. Demetrio Balabad | 36. Elizabeth Felipe |
| 7. Amor Bahinli | 37. Teresa Mamas |
| 8. Pelagio Bistula | 38. Domingo Martin |
| 9. Merlyn Bistula | 39. Romeo Martin |
| 10. Cornelia Casuma | 40. Junie Martin |
| 11. Mindalita Casuma | 41. Elsie Martin |
| 12. Juana Canonigo | 42. Thelma Maravilla |
| 13. Alejandro Cenenti | 43. Arturo Malud, Jr. |
| 14. Zenaida Cenenti | 44. Clarita Mapula |
| 15. Emelia Cenenti | 45. Atenodora Mori |
| 16. Loreto Cosmo | 46. Dexter Mori |
| 17. Amparo Capilitan | 47. Stanley Mori |
| 18. Bonifacio Daclisan | 48. Vicente T. Mori |
| 19. Irene Dalagonan | 49. Carlito Mori |
| 20. Flaviana Enero | 50. Cristina Monera |
| 21. Josephine Enero | 51. Gilda Monera |
| 22. Fernando Espis | 52. Rolando Monera |
| 23. Carmen Esua | 53. Leonila Morales |
| 24. Facita E. Faller | 54. Myrna Narca |
| 25. Bonito Gaspar | 55. Encarnacion Orboda |
| 26. Margarita Hermogenes | 56. Belinda Orboda |
| 27. Margarito Hermogenes | 57. Ronie Orboda |
| 28. Benjamin Hermogenes | 58. Virgie Oleana |
| 29. Vilma Horda | 59. Visitacion Payan |
| 30. Witaba Hoca | 60. Corazon Padas |

61. Antonia Pandoy
62. Romeo Pandoy
63. Norma Orbodo
64. Alberto Payan
65. Daniel Payan
66. Lotecia Payan
67. Lynoth Renemirito
68. Editha Revilla
69. Teresita Revilla
70. Milagros Suelto
71. Delfin Saligan
72. Antonio Sato
73. Jose Sato
74. Magdalena Saruma
75. Rosalina Tabanao
76. Eugenia Te
77. Susan Te
78. Lencio Villamor, Sr.
79. Leoncio Villamor, Jr.
80. Luzminda Villamor
81. Nimfa Villamor
82. Francisco Villamor, Sr.
83. Francisco Villamor, Jr.
84. Maris Villamor
85. Rosalinda Villamor
86. Danilo Villamor
87. Carlito Villamor
88. Migellon Villamor
89. Remedios Villamor
90. Adolfo Villamor

ASTORGA CHAPTER
Astorga, Davao del Sur

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. Herberto Nakano | 31. Nella Nakano |
| 2. Antonina Nakano | 32. Marcella Nakano |
| 3. Leonardo Nakano | 33. Mario Nakano |
| 4. Evangelina Nakano | 34. Udinah Nakano |
| 5. Herminio Nakano | 35. Elias Razonable |
| 6. Geronimo Nakano | 36. Gertrudes Nakano |
| 7. Juanita Nakano | 37. Juana Linog |
| 8. Rodolfo Nakano, Sr. | 38. Melanio Linog |
| 9. Efren Nakano | 39. Matilde Linog |
| 10. Rodolfo Nakano, Jr. | 40. Sofia Lantayona |
| 11. Geraldo Nakano | 41. Nicolasa Lantayona |
| 12. Rogelio Nakano | 42. Jose Lantayona |
| 13. Herberto Nakano, Jr. | 43. Andres Lantayona |
| 14. Asuncion Nakano | 44. Rita Lantayona |
| 15. Dominador Nakano | 45. Saturnino Miyashiro |
| 16. Samuel Nakano | 46. Rogue Miyashiro |
| 17. Genie Nakano | 47. Magdalena Miyashiro |
| 18. Leticia Nakano | 48. George Lantayona |
| 19. Adolfo Nakano | 49. Baby Lantayona |
| 20. Apolinario Nakano | 50. Julianita Tintin |
| 21. Oyar Nakano | 51. Rosita Iying |
| 22. Honina Nakano | 52. Omena Iying |
| 23. Andres Nakano | 53. Crisostomo Cabata |
| 24. Elsie Nakano | 54. Juan Uzema |
| 25. Domingo Nakano | 55. Rodrigo Uzema |
| 26. Nestor Nakano | 56. Pelar Uyamas |
| 27. Rosalinda Nakano | 57. Alberto Lantayona |
| 28. Carmen Nakano | 58. Roberto Lantayona |
| 29. Mariano Nakano | 59. Alex Lantayona |
| 30. Francisca Nakano | 60. Susan G. Lantayona |

61. Necasio Lantayona
62. Teresita Lantayona
63. Virginia Miyoshiro
64. Ricardo Uno
65. Teresita Estorba
66. Lilia de Castro Lantayona
67. Gloria Nakano Otoy
68. Cristina O. Nakano
69. Rosita Miyoshiro
70. Damsang Mamyos
71. Natividad Tintim
72. Manuela N. Onto
73. Nenita Recana
74. Enggo Otay
75. Mercedesita Miyashiro
76. Rogelio G. Miyashiro
77. Minda A. Miyashiro
78. Ruben Iying
79. Ebensito Iying
80. Vilma Tintim
81. Susan L. Godmalin

TAGUM CHAPTER
Tagum, Davao del Norte

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. Adolaida S. Panaguiton | 36. Edwin Madum |
| 2. Maria L. S. Panaguiton | 37. Isagani Madum |
| 3. Nool S. Panaguiton | 38. Crisanto Bangoy |
| 4. Jeanette S. Rabago | 39. Bernaldo Cabilto |
| 5. Vidal Cabilio | 40. Demetrio Cabilto |
| 6. Olipia C. Tonogawa | 41. Anita Ysit |
| 7. Asuncion Magno | 42. Chotaro Okayama |
| 8. Demetria Ysit Hayas | 43. Melanio T. Austero |
| 9. Teresita Hayas Villegas | 44. Sumio Kadioka |
| 10. Lilia Hayas Villegas | 45. Titsuo Kadioka |
| 11. Ernesto Hayasa Magno | 46. Teresita Chime Mulat |
| 12. Teresita O. Chicote | 47. Rosalinda Pedro |
| 13. Salvador Okayama | 48. Leticia Apao |
| 14. Candida Okayama | 49. Hisai Morikawa |
| 15. Loling K. Calumpang | 50. Leonardo Okayama |
| 16. Escolastica S. Bangoy | 51. Corason A. N. Liguyan |
| 17. Rita S. Bangay | 52. Magdalena Sensano |
| 18. Arlene Dagondon | 53. Arsenio Okayama |
| 19. Hisao Morikawa | 54. Jevelyn Austero |
| 20. Maria Diapolet | 55. Pedro Madum |
| 21. Maria Kase Cendana | 56. Aurelia Morikawa |
| 22. Crestita Cendana | 57. Isabelita Jac |
| 23. Patricia P. Kohara | 58. Jocelyn Cequina |
| 24. Carlos Pusta Kohara | 59. Babino A. Morikawa |
| 25. Florenda Dagondon | 60. Paterno O. Fuentes |
| 26. Mariko Narimoto | 61. Rosalinda Salimpatao |
| 27. Alfredo Fuentes | 62. Jacinto Sensano |
| 28. Christina Yushimini | 63. Evangeline Guntapay |
| 29. Pepe Yushimini | 64. Teofila Fernandez |
| 30. Artemio Okayama | 65. Cesar Flerencie Guntapay |
| 31. Perperio Dagondon | 66. Marino Fernandez |
| 32. Hisayos Morikawa | 67. Eduardo Fernandez |
| 33. Gloria Cequina | 68. Almario Fernandez |
| 34. Luz Bales | 69. Josephine F. Estremos |
| 35. Danilo T. Okayama | 70. George Fernandez |

SANAL CHAPTER

1. Donabel Baugo Ozaki
2. Jose Ani Salde
3. Felix Sotto Surbano
4. Shirley Mihara Sarit
5. Rodie Mizuguchi
6. Ramon Baube Ozaki
7. Allan Baube Ozaki
8. Paquito Baube Ozaki
9. Roxima Kimura Veranda
10. Jose Kimura Veranda
11. Samuel Mizuguchi, Sr.
12. Emeriano Kimura Veranda
13. Eufemia Kimura Veranda
14. Dolores S. Mizuguchi
15. Snielita Mizuguchi Semora
16. Nelly Mihara Plaza
17. Godefredo Semora
18. Jesusa Mihara Surbano
19. Graciano Sakura
20. Rosita Baube Ozaki
21. Bernarde Mihara Sarit
22. Vicenta Mihara Sarit
23. Alicia Camile Mihara
24. Ruperto Baube Ozaki
25. Gerry Baube Ozaki
26. Florentina Baube Ozaki
27. Bienvenida Kimura Veranda
28. Merlinda Veranda Gian
29. Rose Kinda Kimura Veranda
30. Evelyn Mihara Salde

GENERAL SANTOS CITY

1. Mohamad K. Dalid
2. Hansa Kinjo Dalid
3. Mohamad M. Kinjo
4. Hampsey K. Dalid
5. Diamping Kinjo
6. Abdulahim M. Kinjo
7. Buspic M. Kinjo
8. Hannelita Aiza Kinjo Dalid
9. Bai Jaharia Kinjo Dalid
10. Saadia Kinjo Bentaib
11. Noraiza Kinjo Dalid
12. Crispin Sakaf Coten
13. Gina Amoy
14. Yushe Kanashiro
15. Maria Ermina Roales
16. Yeshike Defiles Higa
17. Naika Fuentes
18. Marerte K. Podader

③ 「フィリピン日系人会」要望書(ラミー農場)

Project Proposal for 5 Hectares Ramie Plantation

Prepared by:


Paul O. Denis

Agricultural Economist

Farm Manager- L.D. Agricultural Farm

Ramie Division 1979- 1984

I.	<u>FIXED Capital Investment:</u>	
	A. Investment for 5 hectares of Ramie farm ₱30,861.00/ha. (see Annex B)	₱ 154,305.00
II.	<u>Production Cost (Harvesting and Processing Maintenance)</u>	
	A. ₱5,219.75/ha./harvest x 5 harvest/year for 5 hectares (See Annex C)	130,493.75
III.	<u>Administrative Expenses (for 1 year)</u>	<u>48,000.00</u>
	See schedule 1	₱ 332,798.75

PROJECT PROPOSAL FOR 5 HECTARES
BUDGET

1.	To give the full amount of the fixed capital investment	154,305.00
2.	40% for the total production cost	52,197.50
3.	35% for the total administrative expense	<u>16,800.00</u>
		₱ 223,302.50
4.	Professional Fee-3% of any approved amount of capitalisation in the proposed ramie project	
5.	The project proposal excludes the land acquisition cost	

ANNEX A

Estimated cost of developing one hectare into ramie plantation

A. Plowing:		
By farm tractor @ ₱1,000/ha., 2 way deep plowing, 2 way harrowing		₱ 4,000.00
B. Planting Materials:		
Two truckloads (ramie roots) @ ₱6,000/load		12,000.00
C. Trucking expense for hauling @ ₱400 for 2 loads		800.00
D. Plowing by Carabao:		
@ ₱40/day for 2 days		80.00
E. Preparation of planting materials		
By 3 farm hands @ ₱18.00/day for 4 days		216.00
F. Planting:		
By 6 farm hands @ ₱18.00/day for 6 days		648.00
G. Weeding:		
By 4 farm hands @ ₱18.00/day for 14 days		<u>1,008.00</u>
		₱ 18,752.00/hectare

Note: ₱18,752.00 x 5 hectares = ₱ 93,760.00

ANNEX B

Investment Plan of Ramie Project

5 Hectares

<u>CAPITAL INVESTMENT</u>	<u>UNIT</u>	<u>UNIT COST</u>	<u>TOTAL COST</u>
A. Fixed Investment			
1. Farm House	1		₱ 20,000.00
2. Portable moving machine w/7hp-2,200 rpm	1		26,000.00
3. Brusher	1		7,000.00
4. CART (Cariton)	1		1,500.00
B. Livestock Purchase			
1. Carabao (working animal)	1		5,600.00
C. Tools and Equipments			
1. shovel	3	₱ 65.00	195.00
2. spreader	1		50.00
3. sprayer	1		800.00
D. Land Preparation			93,760.00
SEE Annex A		TOTAL	₱254,305.00
			vvvvvvvvvvvv

ANNEX O

Estimated projected cost of harvesting to processing
of Ramie Fiber in one hectare/per harvest

A. Stripping:		
@ .90/kilo with an average of 859.74 kilos dried fiber/harvest		P 773.77
B. Cutting (Tapas)		
@ .70/kilo with an average of 859.74 kilos dried fiber/ha.		601.62
C. Drying		
@ .20/kilo with an average of 859.74 kilos dried fiber/ha.		171.95
D. Brushing		
@ .16/kilo with an average of 747.6 net kilos/ha.		191.62
E. Field Maintenance		
; P18.00/day by 2 farm hands for 6 days		216.00
F. Crude Oil		
72 liters/ha. @ P6.55/liter		471.60
G. Machinery Maintenance		100.00
H. Fertilizer (45-0-0)		
6 bags/ha. @ P270.00/bag		1,620.00
I. Insecticide (Solidol)		
one quart/ha. @ P145/quart		145.00
J. Other Expenses		
For drainage maintenance, weeding		1,000.00
		<hr/>
		P 5,219.75
		VVVVVVVVVV

One year operation

P5,219.75 x 5 harvests/year - P26,098.75

5 hectare operation in one year:

P26,098.75/hectare/year x 5 hectares - P 130,493.75

SCHEDULE 1

General and Administrative Expenses

A. Salaries and Wages

1. Farm Manager

₹ 2,500/month

2. Secretary, filing clerk & bookkeeper

1,000/month

B. Travelling Allowances

500/month

₹ 4,000.00/month

₹ 4,000.00/month x 12 months = ₹ 48,000.00/year

PROJECTED PRODUCTION OF RAMIE FIBER FOR ONE HECTARE

One Year Cropping

	<u>Every 60 days</u>	<u>Harvest in picul</u>	<u>Gross Income</u>	<u>Expenses</u>	<u>Income B/T</u>
1	1st harvest	5	₱ 7,787.50	₱ 5,219.75	₱ 2,567.75
2	2nd harvest	10	15,575.00	5,219.75	10,355.25
3	3rd harvest	12	18,690.00	5,219.75	13,470.25
4	4th harvest	12	18,690.00	5,219.75	13,470.25
5	5th harvest	12	18,690.00	5,219.75	13,470.25
	TOTAL	51	79,432.50	26,098.75	53,333.75

NOTE: The price of ramie fiber per picul is ₱1,557.50.

Income of 5 has. before Taxes

(1) 53,333.75/ha./year - ₱ 397,162.50 (5 has.)

PROJECTED PROFIT & LOSS STATEMENT

5 Hectares Ramie Plantation

	First Year	Second Year	Third Year	Fourth Year	Fifth Year
S A L E S	397,162.50	444,822.00	498,200.64	557,984.71	624,942.87
Less: COST OF SALES	130,493.75	134,408.56	138,440.81	142,594.03	146,871.85
GROSS PROFIT	266,668.75	310,413.44	359,759.83	415,390.68	478,071.02
Less:					
Adm. Expenses	48,000.00	48,000.00	48,000.00	48,000.00	48,000.00
Depreciation	552.50	7,422.50	6,900.00	6,900.00	8,900.00
Percentage Tax	2,666.68	3,104.13	3,597.59	4,153.90	4,780.71
SSS Premium	2,520.00	2,520.00	2,520.00	2,520.00	2,520.00
NET INCOME BEFORE TAXES	212,959.57	249,366.81	298,742.24	353,816.78	413,870.31

Assumptions:

- (1) 12% Annual Increase on Production Sales
- (2) 3% Annual Increase on Cost of Sales
- (3) Depreciation:
 - a.) Other equipments - 50% depreciation starting on the 1st year (shovel, spreader, sprayer)
 - b.) Machinerics (Horticator * Brusher * Gariton) - 20% yearly depreciation starting on the 2nd year
 - c.) Building - 10% depreciation starting on the 5th year
- (4) Percentage Tax - 1% of yearly gross profit
- (5) SSS Premiums - 6% on Salaries & Wages - Administrative

(2) 北部ルソン比日親善協会

① 「北部ルソン比日親善協会」定款



Republic of the Philippines
Securities and Exchange Commission

EDSA, Greenhills, Mandaluyong
Metro-Manila

S.E.C. Reg. No. 1131N

TO ALL TO WHOM THESE PRESENTS MAY COME, GREETINGS:

WHEREAS, Articles of Incorporation and By-Laws duly signed and acknowledged for the organization of the

FILIPINO-JAPANESE FRIENDSHIP ASSOCIATION
OF NOTRHERN LUZON, INCORPORATED

under and in accordance with the provisions of the Corporation Code of the Philippines, Bates Pambansa Big. 68, approved on May 1, 1980, were presented for filing in this Commission on April 28, 1983, and a copy of said Articles and By-Laws are hereto attached;

NOW, THEREFORE, by virtue of the powers and duties vested in me by law, I do hereby certify that the said Articles of Incorporation and By-Laws were, after due examination to determine whether they are in accordance with law, duly registered in this Commission on the 2nd day of June, Anno Domini, Nineteen Hundred and eighty-three.

IN TESTIMONY WHEREOF, I have hereunto set my hand and caused the seal of this Commission to be affixed at Mandaluyong, Metro-Manila, Philippines, this 2nd day of June, in the year of our Lord nineteen hundred and eighty-three.


JESUS C. VALDES
Associate Commissioner



ARTICLES OF INCORPORATION
OF
FILIPINO-JAPANESE FRIENDSHIP ASSOCIATION
OF
NORTHERN LUZON

KNOW ALL MEN BY THESE PRESENTS:

The undersigned, all incorporators, all of legal ages, Filipinos by citizenship and majority of whom are residents of the Republic of the Philippines, have this day, voluntarily agreed and associated themselves together to form a non-stock corporation under the laws of the Republic of the Philippines.

AND WE HEREBY CERTIFY:

FIRST

That the name under which the corporation shall exist shall be "FILIPINO-JAPANESE FRIENDSHIP ASSOCIATION OF NORTHERN LUZON, INCORPORATED"

SECOND

That the purposes for which the Corporation is formed are:

1. - To establish a non-profit, non-religious and non-stock corporation composed of Filipinos of Japanese lineage or descent as well as Japanese citizens who are permanently residing in the Philippines for the primary purpose of promoting a better and closer Filipino-Japanese understanding, including but not limited to the enhancement of the social, educational, economic and general well being of the members and the future of their children and descendants;
2. - To raise funds by way of donations and or fund campaign activities to carry out the functions and civic service responsibilities of the Association;
3. - To receive or acquire, either through purchase or donation, real properties, as the transaction of the lawful purposes of the Association may reasonably and necessarily require, and to manage the same for the welfare of the members, subject to the limitations prescribed by law and the constitution.

James C. Hamon
Marie Belova J. Escalero
Aster Theresa Umagay
Emergence F. Abalos
S. Carabita Kaban, Inc.
J.P. [Signature]

[Signature]

[Signature]

ARTICLES OF INCORPORATION
 FILIPINO-JAPANESE ASSOCIATION OF NORTHERN LUZON
 PAGE 3

amount contributed or donated to the Association, together with the names, nationalities and residences of the specified contributors are as follows:

<u>NAME</u>	<u>NATIONALITY</u>	<u>RESIDENCE</u>	<u>AMOUNT OF CONTRIBUTION</u>
<u>Caritas Osaka</u>	<u>Japan</u>	<u>Osaka</u>	<u>₱4,000.00</u>
<u>Matsushita Electric Co.</u>	<u>Japan</u>	<u>Osaka</u>	<u>₱4,000.00</u>
<u>Kobe Kaisei Hospital</u>	<u>Japan</u>	<u>Kobe</u>	<u>₱4,000.00</u>
<u>Kobe Kaisei Jishi Gakuin</u>	<u>Japan</u>	<u>Kobe</u>	<u>₱4,000.00</u>
<u>Damen-Chuin Catholic Church</u>	<u>Japan</u>	<u>Tokyo</u>	<u>₱4,000.00</u>

EIGHTH

That Maria Dolores T. Escario has been elected by the members as Treasurer of the Corporation to act as such until his successor is duly elected and qualified in accordance with the By-Laws, and as such Treasurer, he has been authorized to receive for and in the name and for the benefit of the Corporation, all contributions or donations given by the members.

IN WITNESS WHEREOF, we have hereunto signed this Articles of Incorporation, this 5th day of April, 1981, in the City of Baguio, Republic of the Philippines.

[Signature] [Signature]
[Signature] [Signature]
[Signature] [Signature]
[Signature]

SIGNED IN THE PRESENCE OF:

[Signature] [Signature]

Vertical signature on the left margin.

Large handwritten mark on the right margin.

ARTICLES OF INCORPORATION
 FILIPINO-JAPANESE FRIENDSHIP ASSOCIATION OF NORTHERN LUZON
 PAGE 2

THIRD

That the principal office of the Association herein incorporated is located in the City of Baguio, Republic of the Philippines.

FOURTH

That the term for which the said corporation is to exist is FIFTY (50) years from and after the date of issuance of the Certificate of Incorporation.

FIFTH

That the names, nationalities and residences of the incorporators of the Association are as follows

<u>NAME</u>	<u>NATIONALITY</u>	<u>RESIDENCE</u>
Charles B. Terroca	Filipino	Baguio City
Sister Theresia Uno	Japanese	Baguio City
Sister Carmelita Kalaw	Filipino	Baguio City
Simeon C. Kamada	Filipino	Baguio City
Osce G. Kamada	Filipino	Baguio City
Evangelina F. Abalos	Filipino	Baguio City
Marie Dolores T. Escano	Filipino	Baguio City

SIXTH

That the number of trustees of the Corporation shall be seven (7); and that the names, nationalities and residences of the first trustees who are to serve until their successors are elected and qualified in accordance with its By-Laws are as follows:

<u>NAME</u>	<u>NATIONALITY</u>	<u>RESIDENCE</u>
Charles B. Terroca	Filipino	Baguio City
Sister Theresia Uno	Japanese	Baguio City
Sister Carmelita Kalaw	Filipino	Baguio City
Simeon C. Kamada	Filipino	Baguio City
Osce G. Kamada	Filipino	Baguio City
Evangelina F. Abalos	Filipino	Baguio City
Marie Dolores T. Escano	Filipino	Baguio City

SEVENTH

That the capital of the Association or the

[Signature]

[Signature]

In Carmelita Kalaw, for
 Sister Theresia Uno
 Evangelina F. Abalos
 Marie Dolores T. Escano
 Simeon C. Kamada
 Osce G. Kamada

ARTICLES OF INCORPORATION
 FILIPINO-JAPANESE FRIENDSHIP ASSOCIATION OF NORTHERN LUZON
 PAGE 4

ACKNOWLEDGMENT

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES)
 IN THE CITY OF BAGUIO. . .) S.S.

BEFORE ME, a notary public for and in the city of Baguio, Philippines, this 5th day of April, 1983, personally appeared:

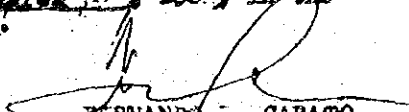
- ~~Carlos E. Tansaka~~, with Res. Cert. no. ~~4687032~~
 issued at ~~Pasiguita, Manila~~ ~~March 1, 1983~~;
- ~~Sister Theresia Umso~~, with Res. Cert. No. ~~3375827~~
 issued at ~~Baguio City~~ on ~~January 14, 1983~~;
- ~~Sister Carmelita Felaw~~, with Res. Cert. No. ~~8019601~~
 issued at ~~Baguio City~~ on ~~March 28, 1983~~;
- ~~Sinai C. Hamada~~, with Res. Cert. No. ~~8654575~~
 issued at ~~Baguio~~ on ~~January 5, 1983~~;
- ~~Ozan C. Hamada~~, with Res. Cert. No. ~~3306138~~
 issued at ~~Baguio~~ on ~~February 22, 1983~~;
- ~~Evangelina F. Abalos~~, with Res. Cert. No. ~~1586052~~
 issued at ~~La Trinidad~~ on ~~January 17, 1983~~;
- ~~Dolores T. Escobar~~, with Res. Cert. No. ~~3372621~~
 issued at ~~Baguio~~ on ~~January 12, 1983~~;

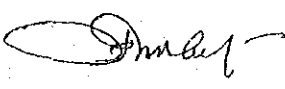
known to me and to me known to be the same persons who have executed the foregoing Articles of Incorporation and that they have acknowledged the same to be their own true act and voluntary deed.

This document refers to the Articles of Incorporation of the Filipino-Japanese Friendship Association of Northern Luzon, consisting of four (4) pages, including this page where the acknowledgment is written and was signed by the incorporators and their witnesses in a each and every page thereof.

IN WITNESS WHEREOF, I hereunto set my hand and seal this 5th day of April, 1983, in the City of Baguio, Philippines.

Doc. No. 203;
 Page No. 84;
 Book No. 26;
 Series of 1983


 FERNANDO S. CABATO
 NOTARY PUBLIC
 Until December 31, 1983
 PTR 6873775-E, 12-29-82(1983)
 Baguio City
 TAN C1319-E3034-A-9





Sr. Carmelita Felaw, Sr.
 Sr. Theresia Umso, Sr.
 Evangelina F. Abalos
 Dolores T. Escobar
 Sr. Sinai C. Hamada
 Sr. Ozan C. Hamada